

平成25年度

学校評価アンケート 集計結果

教職員アンケート結果P. 1～3

保護者アンケート結果P. 4～5

生徒アンケート結果P. 6～7

学校協議会委員アンケート結果P. 8～9

大阪市立春日出中学校

春日出中学校の教育に関するアンケート集計結果

対象者:教職員 回答者数13

【評価要領】

評価は4段階で、下の内容を参考にして、A・B・C・D 枠のいずれか1つに○印記入。

<A…よく当てはまる B…まあまあ当てはまる C…あまり当てはまらない Dほとんど当てはまらない>

☆ A・B評価をあわせて、75%以上の項目の番号に網掛け

1. 学校全体について

全体に占める割合(%)

番号	質問内容	A	B	C	D
1	春日出中学校では、教育方針をわかりやすく保護者に伝えている。	33	58	8	0
2	春日出中学校の各学年、校務分掌、各委員会が組織的に機能している。	23	31	46	0
3	春日出中学校では、個人情報保護の管理システムが確立されている。	23	54	23	0
4	春日出中学校では、教職員間の連絡・情報交換が綿密であり、適切に行われている。	31	23	46	0
5	春日出中学校では、学校運営に、教職員の意見が反映されている。	31	23	46	0
6	春日出中学校の教員は、積極的に研修(校内外)に参加し、指導力の向上を図っている。	17	58	25	0
7	春日出中学校では、学校行事の工夫・改善などを行い、魅力ある学校づくりを進めている。	46	31	23	0

2. 教育課程・学習指導について

全体に占める割合(%)

番号	質問内容	A	B	C	D
8	春日出中学校では、各教科において、基礎基本の定着に工夫し、徹底している。	42	58	0	0
9	春日出中学校は、生徒の実態をふまえ、授業内容や授業方法の工夫をしている。	33	67	0	0
10	春日出中学校の通知票は、生徒の学力を適切に評価できるようになっていて、わかりやすいと思う。	25	67	8	0
11	春日出中学校では、学習意欲の高い生徒、到達度の低い生徒に応じた個に応じた視点で工夫、改善を行っている。	31	46	23	0
12	春日出中学校は、将来の進路や職業などについて、適切な指導や取り組みを行っている。	38	54	8	0
13	春日出中学校では、「道徳教育」や「人権を大切にする教育」を、系統(テーマ)だてて適切に行っている。	15	31	46	8
14	春日出中学校では、生徒自身に考えさせる指導ができています。	17	42	42	0

3. 生活指導について

全体に占める割合(%)

番号	質問内容		A	B	C	D
15	春日出中学校の生徒指導の方針をよく理解している。	15	25	50	25	0
16	春日出中学校の教職員は協力して生徒指導にあたっている。	16	23	46	31	0
17	春日出中学校では、生命尊重・男女共生を基盤とした人権教育が できている。	17	9	45	45	0
18	春日出中学校の教職員は、日頃から生徒との会話量も十分で、子 どもをよく理解し、個々に応じた適切な指導を行っている。	18	8	42	50	0
19	春日出中学校では、教育相談体制が整備され、相談しやすいよう 工夫されている。	19	18	45	36	0
20	春日出中学校では、生徒会や委員会活動を通して、自主的、主体 的に活動できるよう支援している。	20	45	45	9	0
21	春日出中学校の部活動では、達成感が得られるように工夫して指 導している。	21	50	50	0	0

4. 安全・健康管理について

番号	質問内容		A	B	C	D
22	春日出中学校は、火災や地震などの災害時の対応など緊急時の 行動について組織的に取り組んでいる。	22	64	36	0	0
23	春日出中学校は、生徒の健康、保健衛生について、組織的に取り 組んでいる。	23	36	36	27	0
24	春日出中学校は、施設・設備面での環境整備・保全を行っている。	24	27	64	9	0
25	春日出中学校は、職員の健康、保健衛生について、情報の周知や 配慮を行っている。	25	18	64	18	0

5. 保護者との連携について

全体に占める割合(%)

番号	質問内容		A	B	C	D
26	春日出中学校(教員)と家庭間とで緊密な連携を行っている。	26	10	80	10	0
27	春日出中学校の教職員は、保護者の要望に対し、真摯な姿勢で受 け止めながら、適切に対応している。	27	36	36	27	0
28	春日出中学校(教員)は、多くの保護者に信頼されていると思う。	28	9	64	27	0
29	春日出中学校は、授業参観(土曜授業含む)、行事等で、保護者が 子どもの様子を見る機会をよく設けている。	29	36	55	9	0
30	春日出中学校は、ホームページや保護者向けプリント(案内・連絡 文書等)で、適切に情報の公開を行っている。	30	33	33	33	0

6. 学校経営について

		全体に占める割合(%)				
番号	質問内容		A	B	C	D
31	学校は、地域の要望・意見に耳を傾け、適切に対応できている。	31	42	50	8	0
32	学校は、火災や地震などの災害時の対応について、避難訓練などを通じて、子どもに緊急時の行動について指導している。	32	50	50	0	0
33	学校は、施設・設備面において、環境整備や安全面での配慮を十分に行っている。	33	27	73	0	0
34	学校は、ホームページや各種案内、地域会合などで、地域に対して情報発信を行い、開かれた学校づくりに努めている。	34	33	42	25	0
35	学校では、全国学力・学習状況調査などの結果を真摯に受けとめ、授業改善や学力の向上に向けての取り組みを進めている。	35	55	36	9	0
36	学校では、全国体力・運動能力調査などの結果を真摯に受けとめ、体力や運動能力の向上に向けての取り組みを進めている。	36	36	64	0	0
37	学校では、基本的な生活習慣、きまりや約束を守り、いじめのない良好な友だち関係を築けるような指導や働きかけができています。	37	50	42	8	0
38	学校では、1年生の職業講話(社会人から学ぶ)、2年生の職業体験学習(職場実習)、3年生の進路選択学習など、職業観、将来展望を培う教育(キャリア教育)にも力を入れている。	38	50	33	17	0
39	学校は、地域やPTAと連携し、教育に関わっての行事や取り組み、またいろいろな教育課題(健全育成など)の解決に向けて熱心に取り組んでいる。	39	42	50	8	0
40	校長は、教育委員会に申請し、承認された校長経営戦略予算(500万円)を、学習環境づくりや生徒の豊かな心や向上心の育成のために有効活用している。	40	33	42	25	0
41	校長は、春日出中学校の教育や将来展望について、きちんとした視点、目標をもって学校経営にあたっている。	41	45	36	18	0

7. 自由記述欄

○不登校生対策についてのご意見(1)

○生活指導面と人事ビジョンに関わってのご意見(1)

ご協力ありがとうございました。

春日出中学校の教育に関するアンケート集計結果

対象者：PTA役員・実行委員 回答者数：12

※評価は4段階で、下の内容を参考にして、A・B・C・D 枠のいずれか1つを選んでいただきました。

<A…よく当てはまる B…まあまあ当てはまる C…あまり当てはまらない Dほとんど当てはまらない>

※A・B評価を合わせ、75%以上となった質問項目の番号を網掛けしています。

1. 学校全体について

番号	質問内容	全体に占める割合(%)			
		A	B	C	D
1	春日出中学校は、教育方針や目標をさまざまな機会・手段を使ってわかりやすく伝えようとしている。	25	58	17	0
2	春日出中学校は、キャリア教育、防災教育を含め、現在の教育課題に応じて、特色のある教育を進めようとしている。	25	67	8	0
3	春日出中学校は、生徒に自分の生き方をよく考え、豊かな心を持った人に育てようとしている。	25	42	25	8
4	春日出中学校では、生徒に命の大切さを教え、人権を尊重する意識を育む教育を進めようとしている。	33	42	8	17
5	春日出中学校の様子は、ホームページや通信(学年・学級だより等)や懇談会でよく知ることができる。	25	42	33	0

2. 学習面について

番号	質問内容	A	B	C	D
6	先生方は、わかりやすく、丁寧に授業を行っている。	25	33	42	0
7	先生は、授業内容や授業の方法、教え方などについて工夫している。	17	42	42	0
8	先生方は、生徒の能力、努力や成果を適切に評価している。	33	33	33	0
9	通知票は、生徒の学力を適切に評価できていて、わかりやすい。	25	58	17	0
10	将来の進路や職業などについて、適切な指導や特色ある取り組みを行っている。	17	58	25	0
11	進路指導に関して、生徒や家庭への適切な情報提供が行えている。	17	50	33	0

3. 生活面について

番号	質問内容		A	B	C	D
12	春日出中学校の生徒指導の方針は理解できる。	12	33	25	17	25
13	学校の雰囲気がよく、子どもたちはいきいきしている。	13	25	33	25	17
14	子どもは、学校へ行くのが楽しそうである。	14	8	50	25	17
15	先生方は、子どもをよく理解し、間違った行動には厳正に指導してる。	15	33	42	17	8
16	子どもは、宿泊行事・体育大会・文化祭などの学校行事を楽しみにし、積極的に参加している。	16	50	42	8	0
17	生徒会や委員会活動は活発で、自主性が育ってきている。	17	25	42	33	0
18	部活動が活発で、子どもたちも積極的に部活動に参加している。	18	58	8	25	8
19	部活動の顧問の先生は熱心によく指導してくれている。	19	58	17	25	0
20	子どもは、学校での出来事や友だちのことについて、家でよく話す。	20	33	42	17	8
21	子どもは、学校からの連絡やお知らせプリントなど、忘れず必ず見せている。	21	17	50	33	0
22	子どものことについての相談など、気軽に先生(学校)に相談できる。	22	25	33	33	8
23	春日出中学校に通わせて(進学させて)、よかったと思っている。	23	50	25	8	17

3. 学校経営について

番号	質問内容		A	B	C	D
24	学校は、PTAの要望・意見に耳を傾け、適切に対応している。	24	25	50	25	0
25	学校は、火災や地震などの災害時の対応について、避難訓練などを通じて、子どもに緊急時の行動について教えてくれている。	25	25	67	8	0
26	学校は、施設・設備面において、環境整備や安全面での配慮が十分に行われている。	26	18	55	27	0
27	学校は、ホームページや各種案内、PTA・地域会合などで、情報発信を行い、開かれた学校づくりに努めている。	27	33	50	17	0
28	学校では、全国学力・学習状況調査などの結果を真摯に受けとめ、授業改善や学力の向上に向けての取り組みが進められている。	28	42	25	33	0
29	学校では、全国体力・運動能力調査などの結果を真摯に受けとめ、体力や運動能力の向上に向けての取り組みが進められている。	29	33	33	33	0
30	学校では、基本的な生活習慣、きまりや約束を守り、いじめのない良好な友だち関係を築けるような指導や働きかけができています。	30	27	36	27	9
31	学校では、1年生の職業講話(社会人から学ぶ)、2年生の職業体験学習(職場実習)、3年生の進路選択学習など、職業観、将来展望を培う教育(キャリア教育)にも力が入れられている。	31	33	58	8	0
32	学校は、地域やPTAと連携し、教育に関する行事や取り組みやいろいろな教育課題(健全育成など)の解決に向けて熱心に取り組んでいる。	32	36	55	9	0
33	校長は、教育委員会に申請し、承認された校長経営戦略予算(500万円)を、学習環境づくりや生徒の豊かな心や向上心の育成のために有効活用している。	33	27	55	18	0
34	校長は、春日出中学校の教育や将来展望について、きちんとした視点、目標をもって学校経営にあたっている。	34	36	36	27	0

ご協力ありがとうございました。

春日出中学校の教育に関するアンケート集計結果

対象者:全校生徒 回答者数 302

※ 評価はA～Dの4段階。下の＜A～Dを参照＞

＜ A…よく当てはまる B…まあまあ当てはまる C…あまり当てはまらない Dほとんど当てはまらない ＞

※ A・Bの評価合計が75%以上の設問番号には網掛け

1. 学校生活について

全体に占める割合(%)

番号	質問内容	A	B	C	D
1	学校に楽しく通えているし、学校生活は楽しいと感じている。	48	37	10	4
2	学校で友達と会ったり、お話をすることを楽しんでいる。	67	26	5	2
3	校則やルール、時間を守ることは大事なことだと思う。	71	26	2	1
4	あいさつや言葉づかいをきちんとすることは大事なことだと思う。	83	16	1	1
5	いじめはどんな理由があってもよくないことである。	85	14	1	0
6	いつも朝食を食べて、登校している。	71	15	6	8
7	自分は、遅刻せずに予鈴登校が守れている。	64	26	7	3
8	自分は、宿題や教科の忘れ物はほとんどしない。	33	41	21	5

2. 学習面について

番号	質問内容	A	B	C	D
9	授業を受けることや勉強することは好きである。	14	34	34	18
10	学校の授業や勉強することは大事なことだと思っている。	57	34	8	2
11	自分は、授業に集中し、真剣に受けることができている。	24	54	19	3
12	先生方は、わかりやすくていねいに教えてくれている。	37	51	10	2
13	授業中にわからないところがあれば、質問しやすいし、教えてもらえる。	25	45	24	6
14	中学校の授業で習った内容は、よく理解できている。	21	50	24	5
15	宿題以外にも、家での勉強(予習・復習など)をしている。	12	30	36	23

3. 行事やいろいろな活動について

番号	質問内容		A	B	C	D
16	宿泊行事・体育大会・文化祭などの学校行事を楽しみにし、積極的に参加できていると思う。	16	68	23	5	3
17	春日出中の生徒会や委員会活動は活発で、かんばっていると思う。	17	63	28	5	4
18	生徒会が呼びかける「クリーンキャンペーン」「ペットボトルのキャップ集め」「募金活動」などに、自分も積極的に協力したいと思っている。	18	37	34	21	9
19	春日出中の部活動は活発で、部員も積極的に参加していると思う。	19	61	27	8	4
20	部活動の顧問の先生は、熱心によく指導してくれていると思う。	20	65	25	7	2
21	職業講話(1年)や職場体験学習(2年)は、よい取り組みだと思う。	21	79	19	2	1
22	去年の11月に「和太鼓演奏」を鑑賞しましたが、このような芸術的な作品や一流人たちの発表に触れるような取り組みは素晴らしいと思う。	22	75	20	4	1
23	春日出中は、避難訓練や防災に関する取り組みがしっかりできている学校だと思う。	23	52	40	8	0
24	今年度購入された「展示用ガラスショーケース」「展示パネル(文化祭時に使用)」の活用により、多くの生徒の作品や賞状などの展示がおこなわれ、役立てられたと思う。	24	54	35	9	2
25	「ガラスショーケース」に生徒の作品や部活の賞状が飾られることは、やる気や良い作品の制作など、かんばる意欲につながると思う。	25	51	40	6	3

3. その他

番号	質問内容		A	B	C	D
26	家の手伝いや役に立つことを進んでやっている。	26	22	43	25	9
27	学校でのできごとや友だちの話を家でよくしている。	27	45	30	16	9
28	おうちの方は、自分のことをよくわかってきているし、相談もしやすい。	28	46	32	16	6
29	先生方は、自分のことをよくわかってきているし、相談もしやすい。	29	21	44	25	10
30	学校で配られた保護者向けプリントや案内は、必ず保護者に渡している。	30	46	36	13	5
31	春日出中学校にきてよかったと思っている。	31	59	27	11	3
32	アンケートの質問には、まじめに、正直に答えられたと思う。	32	86	14	0	0

春日出中学校の教育に関するアンケート集計結果

対象者: 学校協議委員 回答者数 5

※評価は4段階で、下の内容を参考にして、A・B・C・D 枠のいずれか1つを選んでいただきました。

<A…よく当てはまる B…まあまあ当てはまる C…あまり当てはまらない Dほとんど当てはまらない>

※A・B評価を合わせ、75%以上となった質問項目の番号を網掛けしています。

1. 学校全体について

番号	質問内容	全体に占める割合(%)			
		A	B	C	D
1	春日出中学校の教育方針は理解できる。	60	40	0	0
2	春日出中学校は、特色のある教育を行っている。	20	80	0	0
3	春日出中学校は、生徒に自分の生き方をよく考え、豊かな心を持った人に育てようとしている。	40	40	20	0
4	春日出中学校では、生徒に命や人権を尊重する意識を育てようとしている。	40	60	0	0
5	春日出中学校の様子や情報は、地域や外部によく発信されている。	20	60	20	0

2. 生活面について

番号	質問内容	全体に占める割合(%)			
		A	B	C	D
6	春日出中学校の生徒指導の方針は理解できる。	60	40	0	0
7	学校の雰囲気がよく、生徒はいきいきしている。	20	80	0	0
8	子どもは、学校へ行くのが楽しそうである。	20	80	0	0
9	生徒の間違った行動には厳正に指導してくれている。	60	40	0	0
10	先生方は、子どもをよく理解して指導してくれる。	20	80	0	0
11	子どもは、宿泊行事・体育大会・文化祭などの学校行事を楽しみにし、積極的に参加している。	40	60	0	0
12	生徒会や委員会活動は活発である。	40	60	0	0
13	子どもは積極的に部活動に参加している。	40	60	0	0
14	部活動の顧問の先生は熱心によく指導してくれている。	40	60	0	0

3. 学校経営について

番号	質問内容		A	B	C	D
15	学校は、地域の要望・意見に耳を傾け、適切に対応してくれている。	15	20	80	0	0
16	学校は、火災や地震などの災害時の対応について、避難訓練などを通じて、子どもに緊急時の行動について教えてくれている。	16	60	40	0	0
17	学校は、施設・設備面において、環境整備や安全面での配慮が十分に行われている。	17	20	60	20	0
18	学校は、ホームページや各種案内、地域会合などで、地域に対して情報発信を行い、開かれた学校づくりに努めている。	18	40	40	20	0
19	学校では、全国学力・学習状況調査などの結果を真摯に受けとめ、授業改善や学力の向上に向けての取り組みが進められている。	19	40	60	0	0
20	学校では、全国体力・運動能力調査などの結果を真摯に受けとめ、体力や運動能力の向上に向けての取り組みが進められている。	20	40	60	0	0
21	学校では、基本的な生活習慣、きまりや約束を守り、いじめのない良好な友達関係を築けるような指導や働きかけができています。	21	40	60	0	0
22	学校では、1年生の職業講話(社会人から学ぶ)、2年生の職業体験学習(職場実習)、3年生の進路選択学習など、職業観、将来展望を培う教育(キャリア教育)にも力が入れている。	22	80	20	0	0
23	学校は、地域やPTAと連携し、教育に関わっての行事や取り組み、またいろいろな教育課題(健全育成など)の解決に向けて熱心に取り組んでいる。	23	40	60	0	0
24	校長は、教育委員会に申請し、承認された校長経営戦略予算(500万円)を、学習環境づくりや生徒の豊かな心や向上心の育成のために有効活用している。	24	80	20	0	0
25	校長は、春日出中学校の教育や将来展望について、きちんとした視点、目標をもって学校経営にあたっている。	25	80	20	0	0

4. 自由記述欄 <ご意見・ご要望などご記入ください。>

日々のご活動に敬意を表します。

今回、アンケートを記入するにあたって、書き添えさせていただきます。

昨年度までは、保護者かつ現役PTA役員であったため、学校環境や評価内容等の中身は、子供からや保護者から、そして先生方から意見を聞いたり、態度を見たりして肌で感じたりすることができました。しかし、一年離れて見ますと、学校協議会での中間報告やホームページ等だけでは情報に限りがあり難しいところがあります。

実際に、学校方針や校長先生のお考えが先生方に浸透し、生徒たちに反映されているのか認識し難い感じがします。だから、評価であるB及びCでは、実際のところ「どちらでもない」があれば、それに当てはまっているかもしれませんので、正確な評価ができていないのか疑問が残るところです。

もっと、学校に出向ければいいのですが、難しいところがあります。このアンケートの前に先生方数人との意見交換みたいな場があれば、もしくは、事実確認シート(先生方記入による現況報告みたいなもの)があれば、もっと正確な評価に反映できると思いました。

平成25年度

学校運営に関する計画
最終反省

＜成果と課題・評価＞

大阪市立春日出中学校

【 目 次 】

<運営に関する計画、自己評価>

学校運営の中期目標（様式1）	 P. 1～
中期目標の達成に向けた年度目標	 P. 2～
本年度の自己評価結果の総括	 P. 3～4
達成状況（目標別シート）（様式2）	 P. 5～6
取組み内容と進捗状況を測る指標	 P. 7～8
目標の達成状況、次年度への改善点	 P. 9

<学力、体力・運動能力等調査関係>

全国学力・学習調査結果等（様式4）	 P. 10
全国学力・学習調査検証シート （国語・数学・基本的生活習慣・家庭学習等の検証データ）	 P. 11～15
全国体力・運動能力調査等（様式5）	 P. 16～17
全国運動習慣調査検証シート（男子）	 P. 18～22
〃（女子）	 P. 23～27
生活指導に関わる調査結果（様式6）	 P. 28
学力向上の取組みについて	 P. 29～30
学力向上アクションプランの 今後のビジョンと具体的方策	 P. 31～32

1 学校運営の中期目標

互いに認め合い、自主性をもち、自ら学ぶ学校づくりを推進する

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 自他を尊重し、ともに支えあい、ともに学び合える生徒集団を育成する。
- 将来を含め、地域や社会の成員として必要な、規範意識や判断力を高め、心豊かに力強く生きるための力を養う。
 - ＜平成28年度の全国学力・学習状況調査における「生徒質問紙」の関連質問に関して、プラス思考回答の割合を平成24年度と同調査より向上させる＞
- キャリア教育の推進…1年生で職業講話、2年生で職業体験を実施し、勤労の喜びや大切さを学ばせる。
 - ＜将来展望や職業観の育成度を、事後アンケートの成就感・達成感の割合で測り、75%以上の値にする＞
- 国際社会に生きる子どもの教育の推進…道徳教育や情操教育をはじめとする「心の教育」の重要性から、学校の責務として、生徒にさまざまな分野の作品を鑑賞させることにより、日常の生活環境の中で、忘れがちとなっている「感動」「共感」する心を育てていく。そのための学習環境や指導環境の整備を進める。
 - ＜日常的には部活動として活動し、校内行事などでも格調高い演奏を行いながら、地域の福祉をはじめとする、公共行事や事業主からの依頼を受け、度々演奏活動を通じ、社会貢献している吹奏楽部の活動振興・支援を行う。そのための楽器をはじめとする備品の充実を図り、生徒・保護者アンケートや学校評価アンケートで、学習環境整備や地域貢献度が進んだという評価が75%以上の値になるようにする＞
 - ＜「生徒の作品があふれる学校」を目指し、美術科、技術・家庭科、特別支援学級等で制作された作品の展示を積極的に行っていく。またそのためのショーケースをはじめとする備品等の充実を進め、学習環境整備や地域貢献度が進んだという評価が75%以上の値になるようにする＞
- 人権を尊重する教育の推進…教育を取り巻く諸課題(いじめ、虐待、不登校生対応や障がい者理解等)に教職員が的確に対処できるように、専門家を招いた校内研修の実施や書籍をはじめとする指導者用教材を整え、高い人権意識を備えた教職員を育成する。また、子育て支援についても、PTAと協働して、関係諸機関の専門家、場合により学校の管理職や教職員を講師とした講習・講座を開設し、教育への関心喚起と、子育て支援の一助とする。
 - ＜教職員・保護者アンケートや学校評価アンケートで、研修の充実や人権に関連した諸課題の解決につながれたという評価が75%以上の値になるようにする＞
- 防災教育・安全教育の推進…「子どもの安全確保」の視点から、教職員が不測の事態にも対応できる知識や行動力の向上を図る。とくに学校が湾岸部に位置している地理的条件から、日常的に地域とともに地震・津波等の災害から、生徒が自らの生命を守るための防災意識の向上や防災時の役割を認識させるために必要な防災用具や避難備品を整え、その使用法や専門家を招いた講習会などを開催したり、訓練を含めた防災対策を積極的に行う。
 - ＜教職員、生徒・保護者アンケートや学校評価アンケートで、防災意識の向上、訓練の効果に関する評価が75%以上の値になるようにする＞

【視点 学力の向上】

- 自ら主体的に学ぶ姿勢を育成し、基礎学力の定着と多様な能力(言語力、思考・考察力、応用力、判断力、表現・発表力など)の伸長を図る。またそのために必要

な辞典、参考書などの学習教材を充実させる。

＜各教科において、授業アンケート、各種テストなどの結果をもとに、指導内容・指導方法などの研究と実践をすすめ、各々数値目標を上回れるようにする。＞

＜とりわけ国語・数学については、平成28年度の全国学力・学習状況調査における、国語・数学の全国との正答率比較値を平成24年度の同調査結果より向上させ、あわせて無答率を低下させる＞

【視点 健康・体力の保持増進】

○基礎体力、ならびに運動能力を向上させるための指導法の研究や部活動の活性化に必要な備品、器具、消耗品、書籍やビデオ教材を整え、活用する。また、身体機能理解や健康増進、運動中の事故防止のために必要な、指導者ならびに生徒向けに、専門家を招いての講習・講座を開く。

＜平成28年度の全国体力・運動能力、運動習慣における合計得点の全国と大阪市の比較値において、平成24年度の同調査より向上させる＞

＜教職員、生徒・保護者アンケートや学校評価アンケートで、有効的な取り組みであるという評価が75%以上になるようにする＞

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 道徳心・社会性の向上】

○平成26年度の全国学力・学習状況調査における「きまり」「約束」「友だち関係」「いじめ」「生活習慣」等に関連する項目において、平成24年度調査結果よりも、押しなべて複数ポイント向上させる。(カリキュラム改革関連)

○キャリア教育の推進に関して、1年生で職業講話、2年生で職業体験を実施し、勤労の喜びや大切さを学ばせ、将来展望や職業観の育成度を、事後アンケートの成就感・達成感の割合で測り、60%以上の値にする。(カリキュラム改革関連)

○国際社会に生きる子どもの教育の推進に関して、道徳教育や情操教育をはじめとする「心の教育」の重要性から、学校の責務として、生徒にさまざまな分野の作品を鑑賞させることにより、日常の生活環境の中で、忘れがちとなっている「感動」「共感」する心を育てていく。そのための学習環境や指導環境の整備を進める。(マネジメント改革関連)

○日常的には部活動として活動し、校内行事などでも格調高い演奏を行いながら、地域の福祉をはじめとする、公共行事や事業主からの依頼を受け、度々演奏活動を通じ、社会貢献している吹奏楽部の活動振興・支援を行う。そのための楽器をはじめとする備品の充実を図り、生徒・保護者アンケートや学校評価アンケートで、学習環境整備や地域貢献度が進んだという評価が60%以上の値になるようにする。(マネジメント改革関連)

○「生徒の作品があふれる学校」を目指し、美術科、技術・家庭科、特別支援学級等で制作された作品の展示を積極的に行っていく。また、そのためのショーケースをはじめとする備品等の充実を進め、学習環境整備や地域貢献度が進んだという評価が、60%以上の値になるようにする。(マネジメント改革関連)

○人権を尊重する教育の推進を目指し、教育を取り巻く諸課題(いじめ、虐待、不登校生対応や障がい者理解等)に教職員が的確に対処できるように、専門家を招いた校内研修の実施や書籍をはじめとする指導者用教材を整え、高い人権意識を備えた教職員を育成する。また、子育て支援についても、PTAと協働して、関係諸機関の専門家、場合により学校の管理職や教職員を講師とした講習・講座を開設し、教育への関心喚起と、子育て支援の一助とし、教職員・保護者アンケートや学校評価アンケートで、研修の充実や人権に関連した諸課題の解決につながれたという評価が60%以上の値になるようにする。(ガバナンス改革関連)

○防災教育・安全教育の推進に関して、「子どもの安全確保」の視点から、教職員が不

測の事態にも対応できる知識や行動力の向上を図る。とくに学校が湾岸部に位置している地理的条件から、日常的に地域とともに地震・津波等の災害から、生徒が自らの生命を守るための防災意識の向上や防災時の役割を認識させるために必要な防災用具や避難備品を整え、その使用法や専門家を招いた講習会などを開催したり、訓練を含めた防災対策を積極的に行い、教職員、生徒・保護者アンケートや学校評価アンケートで、防災意識の向上、訓練の効果に関する評価が60%以上の値になるようにする。(マネジメント改革関連)

【視点 学力の向上】

- 各教科において、授業アンケート、各種テストなどの結果を用い、各々数値目標を上回れるようにする。また、そのために必要な辞典、参考書などの学習教材を充実させる。(カリキュラム改革関連)
- とりわけ国語・数学については、母数が多い平成26年度の全国学力・学習状況調査を用い、全国との正答率比較値を平成24年度と同調査結果より向上させ、あわせて無答率を低下させる。(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 基礎体力、ならびに運動能力を向上させるための指導法の研究や部活動の活性化に必要な備品、器具、消耗品、書籍やビデオ教材を整え、活用する。また、身体機能理解や健康増進、運動中の事故防止のために必要な、指導者ならびに生徒向けに、外部講師を招いての講習・講座を開き、教職員、生徒・保護者アンケートや学校評価アンケートで、有効的な取り組みであるという評価が、60%以上になるようにする。(カリキュラム改革関連)(マネジメント改革関連)
- 平成26年度の全国体力・運動能力、運動習慣における合計得点の全国や大阪市との比較値において、平成24年度と同調査より向上させる。(カリキュラム改革関連)

3 本年度の自己評価結果の総括

【視点 道徳心・社会性の向上】

(カリキュラム改革関連)

- 全国学力・学習状況調査における規範意識や基本的生活習慣の向上・改善を進めることができた。
- 系統立てたキャリア教育の取り組みにより、将来展望や職業観の育成を図ることができた。
- (マネジメント改革関連)
- 学習環境や指導環境の整備により、生徒にさまざまな分野の作品を鑑賞させることにより、「感動」「共感」する心を育むことができた。
- 校長経営戦略予算を活用し、吹奏楽部の活動振興・支援の結果、活動意欲の向上と地域社会に貢献できる人材の育成が図られた。
- 校長経営戦略予算の活用により、展示用ショーケースや必要備品を整備し、美術科、家庭科、特別支援学級等での制作作品を展示し、「生徒の作品があふれる学校」を少しではあるが、進めることができ、生徒の意欲向上にもつなげることができた。
- 防災教育・安全教育の推進に関して、生徒の防災意識を向上させるために必要な防災用具や避難備品を整えながら、専門家による講習会や避難訓練を含めた防災対策を積極的に行うことができた。
- (ガバナンス改革関連)
- 子育て支援等については、PTAや区役所と協働して、スクールカウンセラーや専門家を講師とした研修を行い、教育への関心喚起と地域の教育力の向上の一助とすることができた。

【視点 学力の向上】

(カリキュラム改革関連)

- 辞典、参考書などの学習教材の充実を図り、学習意欲の向上を少しではあるが、向上させることができた。とりわけ国語・数学については、教科学習の意義や重要性の意識向上、無答率の低下が、全国学力・学習状況調査の結果からも伺うことができた。

【視点 健康・体力の保持増進】

(カリキュラム改革関連) (マネジメント改革関連)

- 基礎体力、ならびに運動能力を向上させるための指導法の研究や実践、部活動の活性化が進み、全国体力・運動能力、運動習慣調査でも厳しい環境のなかでも、課題の克服を進めることができた。また、専門家を招いて、身体機能理解や健康増進、運動中の事故防止のための講習会を実施し、意識向上につなげることができた。

大阪府立春日出中学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標どおりに達成した

C: 取り組んだが目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標: 生徒が互いに認め合い、自主性をもち、自ら学ぶ姿勢を育成する	達成状況
【視点 道徳心・社会性の向上】 ○平成26年度の全国学力・学習状況調査における「きまり」「約束」「友だち関係」「いじめ」「生活習慣」等に関連する項目において、平成24年度調査結果よりも、押しなべて複数ポイント向上させる。(カリキュラム改革関連) ○キャリア教育の推進に関して、1年生で職業講話、2年生で職業体験を実施し、勤労の喜びや大切さを学ばせ、将来展望や職業観の育成度を、事後アンケートの成就感・達成感の割合で測り、60%以上の値にする。(カリキュラム改革関連) ○国際社会に生きる子どもの教育の推進に関して、道徳教育や情操教育をはじめとする「心の教育」の重要性から、学校の責務として、生徒にさまざまな分野の作品を鑑賞させることにより、日常の生活環境の中で、忘れがちとなっている「感動」「共感」する心を育てていく。そのための学習環境や指導環境の整備を進める。(マネジメント改革関連) ○日常的には部活動として活動し、校内行事などでも格調高い演奏を行いながら、地域の福祉をはじめとする、公共行事や事業主からの依頼を受け、度々演奏活動を通じ、社会貢献している吹奏楽部の活動振興・支援を行う。そのための楽器をはじめとする備品の充実を図り、生徒・保護者アンケートや学校評価アンケートで、学習環境整備や地域貢献度が進んだという評価が、60%以上の値になるようにする。(マネジメント改革関連) ○「生徒の作品があふれる学校」を目指し、美術科、技術・家庭科、特別支援学級等で制作された作品の展示を積極的に行っていく。また、そのためのショーケースをはじめとする備品等の充実を進め、学習環境整備や地域貢献度が進んだという評価が、60%以上の値になるようにする。(マネジメント改革関連) ○人権を尊重する教育の推進を目指し、教育を取り巻く諸課題(いじめ、虐待、不登校生対応や障がい者理解等)に教職員が的確に対処できるように、専門家を招いた校内研修の実施や書籍をはじめとする指導者用教材を整え、高い人権意識を備えた教職員を育成する。また、子育て支援についても、PTAと協働して、関係諸機関の専門家、場合により学校の管理職や教職員を講師とした講習・講座を開設し、教育への関心喚起と、子育て支援の一助とし、教職員・保護者アンケートや学校評価アンケートで、研修の充実や人権に関連した諸課題の解決につながれたという評価が60%以上の値になるようにする。(ガバナンス改革関連) ○防災教育・安全教育の推進に関して、「子どもの安全確保」の視点から、教職員が不測の事態にも対応できる知識や行動力の向上を図る。とくに学校が湾岸部に位置している地理的条件から、日常的に地域とともに地震・津波等の災害から、生徒が自らの生命を守るための防災意識の向上や防災時の役割を認識させるために必要な防災用具や避難備品を整え、その使用法や専門家を招いた講習会などを開催したり、訓練を含めた防災対策を積極的に行い、教職員、生徒・保護者アンケートや学校評価アンケートで、防災意識の向上、訓練の効果に関する評価が60%以上の値になるようにする。(マネジメント改革関連)	B

【視点 学力の向上】

- 各教科において、授業アンケート、各種テストなどの結果を用い、各々数値目標を上回れるようにする。また、そのために必要な辞典、参考書などの学習教材を充実させる。(カリキュラム改革関連)
- とりわけ国語・数学については、母数が大きい平成26年度の全国学力・学習状況調査を用い、全国との正答率比較値を平成24年度と同調査結果より向上させ、あわせて無答率を低下させる。(カリキュラム改革関連)

B

【視点 健康・体力の保持増進】

- 基礎体力、ならびに運動能力を向上させるための指導法の研究や部活動の活性化に必要な備品、器具、消耗品、書籍やビデオ教材を整え、活用する。
また、身体機能理解や健康増進、運動中の事故防止のために必要な、指導者ならびに生徒向けに、外部講師を招いての講習・講座を開き、教職員、生徒・保護者アンケートや学校評価アンケートで、有効的な取り組みであるという評価が、60%以上になるようにする。(カリキュラム改革関連)(マネジメント改革関連)
- 平成26年度の全国体力・運動能力、運動習慣における合計得点の全国や大阪市との比較値において、平成24年度と同調査より向上させる。(カリキュラム改革関連)

B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①－１【区分 道徳心・社会性の向上】 ○全国学力・学習状況調査における「きまり」「約束」「友だち関係」「いじめ」「生活習慣」等に関連する項目において、平成２４年度調査結果よりも、総合的に複数ポイント向上させる。 指標 ○生活指導を基軸にした教育活動、学級集団作りの研修を年間複数回行い、教職員の指導力を高める。 ○生徒の自覚や生徒集団の相互批判力、保護者の協力を引き出しながら、様々な活動の場面で指導を進める。	B
取組内容①－２ ○キャリア教育の推進に関して、１年生で職業講話、２年生で職業体験を実施し、勤労の喜びや大切さを学ばせ、将来展望や職業観の育成度を、事後アンケートの成就感・達成感の割合で測り、６０％以上の値にする。 指標 ○職業講話、職業体験の取り組みを充実させ、ねらいである勤労の喜びや大切さを学ばせ、将来展望や職業観を育成する。	B
取組内容①－３ ○国際社会に生きる子どもの教育の推進に関して、道徳教育や情操教育をはじめとする「心の教育」の重要性から、学校の責務として、生徒にさまざまな分野の作品を鑑賞させることにより、日常の生活環境の中で、忘れがちとなっている「感動」「共感」する心を育てていく。そのための学習環境や指導環境の整備を進める。 指標 ○専門家が表現する芸術の鑑賞をはじめ、さまざまな分野の作品が鑑賞できるような機会の設定。学習環境や指導環境の整備を進める。	B
取組内容①－４ ○日常的には部活動として活動し、校内行事などでも格調高い演奏を行いながら、地域の福祉をはじめとする、公共行事や事業主からの依頼を受け、度々演奏活動を通じ、社会貢献している吹奏楽部の活動振興・支援を行う。そのための楽器をはじめとする備品の充実を図り、生徒・保護者アンケートや学校評価アンケートで、学習環境整備や地域貢献度が進んだという評価が、６０％以上の値になるようにする。 指標 ○吹奏楽部の活動振興・支援を行うため、楽器をはじめとする備品の充実を進める。	A
取組内容①－５ ○「生徒の作品があふれる学校」を目指し、美術科、技術・家庭科、特別支援学級等で制作された作品の展示を積極的に行っていく。また、そのためのショーケースをはじめとする備品等の充実を進め、生徒・保護者アンケートや学校評価アンケートで、学習環境整備や地域への貢献度が進んだという評価が、６０％以上の値になるようにする。 指標 ○美術科、技術・家庭科、特別支援学級等で制作された作品の展示を積極的に行い、文化祭をはじめとして、広く地域へも公開・発信していく。	B

取組内容①－6 ○人権を尊重する教育の推進を目指し、教育を取り巻く諸課題（いじめ、虐待、不登校生対応や障がい者理解等）に教職員が的確に対処できるように、専門家を招いた校内研修の実施や書籍をはじめとする指導者用教材を整え、高い人権意識を備えた教職員を育成する。子育て支援についても、PTAと協働して、関係諸機関の専門家、場合により学校の管理職や教職員を講師とした講習・講座を開設し、教育への関心喚起と、子育て支援の一助とし、教職員・保護者アンケートや学校評価アンケートで、研修の充実や人権に関連した諸課題の解決につながれたという評価が60%以上の値になるようにする。 指標 ○人権を尊重する教育の推進を目指し、教育を取り巻く諸課題に教職員が的確に対処できるように、専門家を招いた校内研修を開催する。 ○高い人権意識を備えた教職員を育成するため、書籍をはじめとする指導者用教材を積極的に活用する。 ○子育て支援についても、PTAと協働して、外部講師による講習・講座を開設し、教育への関心喚起を進める。	C
取組内容①－7 ○防災教育・安全教育の推進に関して、「子どもの安全確保」の視点から、教職員が不測の事態にも対応できる知識や行動力の向上を図る。とくに学校が湾岸部に位置している地理的条件から、日常的に地域とともに地震・津波等の災害から、生徒が自らの生命を守るための防災意識の向上や防災時の役割を認識させるために必要な防災用具や避難備品を整え、その使用法や専門家を招いた講習会などを開催したり、訓練を含めた防災対策を積極的に行い、教職員、生徒・保護者アンケートや学校評価アンケートで、防災意識の向上、訓練の効果に関する評価が60%以上の値になるようにする。 指標 ○防災教育・安全教育の推進に関して、必要な防災用具や避難備品を整え、その使用法や専門家を招いた講習会などを開催する。 ○防災・避難訓練を実施し、教職員や生徒の防災意識の向上、防災時の対応や役割を認識させる。	A
取組内容②【区分 学力の向上】 ○各教科において、授業アンケート、各種テストなどの結果を用い、各々数値目標を上回れるようにする。とりわけ国語・数学については、母数が大きい平成26年度の全国学力・学習状況調査を用い、全国との正答率比較値を平成24年度と同調査結果より向上させ、あわせて無答率を低下させる。 指標 ○各種アンケート調査等の結果を分析し、具体的改善策についての議論や研修を深める。	B
取組内容③－1【区分 健康・体力の保持増進】 ○身体機能理解や健康増進、運動中の事故防止のために必要な知識・技能を身につける。 取組内容③－2 ○全国体力・運動能力、運動習慣調査から見えてくる本校の課題を克服するために、保健体育の授業をはじめ、運動部の活動、運動的行事や取り組みについて工夫していく。 指標 ○指導者ならびに生徒向けに、身体機能理解や健康増進、運動中の事故防止のための講習・講座を、外部講師を招いて行う。 ○体力・運動能力の向上、運動習慣の向上のために、指導法の研究や部活動の活性化に必要な備品、器具、消耗品、書籍やビデオ教材を整え、授業や部活動指導に活用する。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【視点 道徳心・社会性の向上】

(カリキュラム改革関連)

- 全国学力・学習状況調査における規範意識や基本的生活習慣の向上・改善を進めることができた。
- 系統立てたキャリア教育の取り組みにより、将来展望や職業観の育成を図ることができた。

(マネジメント改革関連)

- 学習環境や指導環境の整備により、生徒にさまざまな分野の作品を鑑賞させることにより、「感動」「共感」する心を育むことができた。
- 校長経営戦略予算を活用し、吹奏楽部の活動振興・支援の結果、活動意欲の向上と地域社会に貢献できる人材の育成が図られた。
- 校長経営戦略予算の活用により、展示用ショーケースや必要備品を整備し、美術科、家庭科、特別支援学級等での制作作品を展示し、「生徒の作品があふれる学校」を少しではあるが、進めることができ、生徒の意欲向上にもつなげることができた。
- 防災教育・安全教育の推進に関して、生徒の防災意識を向上させるために必要な防災用具や避難備品を整えながら、専門家による講習会や避難訓練を含めた防災対策を積極的に行うことができた。

(ガバナンス改革関連)

- 子育て支援等については、PTAや区役所と協働して、スクールカウンセラーや専門家を講師とした研修を行い、教育への関心喚起と地域の教育力の向上の一助とすることができた。

【視点 学力の向上】

(カリキュラム改革関連)

- 辞典、参考書などの学習教材の充実を図り、学習意欲の向上を少しではあるが、向上させることができた。とりわけ国語・数学については、教科学習の意義や重要性の意識向上、無答率の低下が、全国学力・学習状況調査の結果からも伺うことができた。

【視点 健康・体力の保持増進】

(カリキュラム改革関連) (マネジメント改革関連)

- 基礎体力、ならびに運動能力を向上させるための指導法の研究や実践、部活動の活性化が進み、全国体力・運動能力、運動習慣調査でも厳しい環境のなかでも、課題の克服を進めることができた。また、専門家を招いて、身体機能理解や健康増進、運動中の事故防止のための講習会を実施し、意識向上につなげることができた。

次年度への改善点

- 校長が構想・立案した教育目標や展望を細部にわたり、全職員に周知していく方法やより効果をあげる工夫を進める必要がある。
- 学校運営に関する計画の立案と、関連予算の執行計画を早めに行い、より充実した内容で教育活動を展開できるようにしていく。
- 全国学力・学習状況調査、生活習慣調査や体力・運動能力、運動習慣調査の数値結果を主眼をおいた教育では、真の生徒育成・人間形成を進めることはできないので、数字では測れない「こころの教育」「からだの教育」「人権に関わる教育」の推進を具体的に図っていく。
- 本校における防災教育は、地理条件から考えても避けては通れない教育活動であり、未実施の学年、世代がないように進めなければならないので、引き続き効果的な内容での実践を進めていく。
- 生徒会活動をはじめ、さまざまな取り組みを通じ、生徒の自主性、興味・関心・意欲の向上を図り、成就感・達成感を育成していく。

(様式4)

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

1 平成24年度・25年度の調査結果の概要

【平均正答率%】平成25年9月

24年度	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	理科A	理科B
春日出中	67.9	55.2	56.3	43.9	—	47.9	40.9
大阪市 (本校の比較値)	72.1 (-4.2)	58.0 (-2.8)	58.6 (-2.3)	44.9 (-1.0)	—	52.0 (-4.1)	42.8 (-1.9)
大阪府 (本校の比較値)	73.1 (-5.2)	59.1 (-3.9)	60.2 (-3.9)	45.9 (-2.2)	47.8 —	—	—
全国 (本校の比較値)	75.1 (-7.2)	63.3 (-8.1)	62.1 (-5.8)	49.3 (-5.4)	51.0 —	56.1 (-8.2)	47.8 (-6.9)
全校生徒在籍数＝356（調査対象の3年生の在籍数＝115名）							

平成25年度	国語A	国語B	数学A	数学B
春日出中学校	71.6	59.8	58.8	33.2
大阪市 (本校の比較値)	72.2 (-0.6)	61.0 (-1.2)	59.6 (-0.8)	37.1 (-3.9)
大阪府 (本校の比較値)	73.3 (-1.7)	63.0 (-3.2)	61.7 (-2.9)	38.8 (-5.6)
全国 (本校の比較値)	76.4 (-4.8)	67.4 (-7.6)	63.7 (-4.9)	41.5 (-8.3)
全校生徒在籍数＝340名（調査対象の3年生の在籍数＝114名）				

※参考【平均無答率】

<平成24年度>					<平成25年度>				
	国語A	国語B	数学A	数学B	⇒	国語A	国語B	数学A	数学B
春日出中	4.3	4.9	4.2	20.6		2.7	<u>0.2</u>	<u>4.9</u>	<u>16.4</u>
大阪市	—	—	—	—		3.6	4.7	7.2	20.9
全国	3.3	3.7	2.7	13.8		2.4	2.8	5.3	16.7

*本校値のすべてが前年度より良化し、下線値は、全国値よりも良い結果であった。

平成25年度「全国学力・学習状況調査」検証シート

春 日 出 中 学 校

生徒数

111

平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	71.6	59.8	58.8	33.2
大阪市	72.2	61.0	59.6	37.1
全国	76.4	67.4	63.7	41.5

平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	2.7	0.2	4.9	16.4
大阪市	3.6	4.7	7.2	20.9
全国	2.4	2.8	5.3	16.7

結果の概要

学校総体として規律ある学級・学年集団づくりを進めている本校では、授業を大切にし、集中して受ける態度を、長年にわたる「荒れ」の中から、教職員の努力によって克服してきた。

現在、全国学力・学習状況調査対象の国語・数学に限らず、すべての教科において基礎学力や技能の向上と定着のための授業や取り組みが行えるようになってきた。結果として、国語・数学の平均正答率は全国値には届かないが、粘り強く課題に向かう姿勢は、生徒質問紙の結果データや、上表にある「平均無解答率」の低さからも成果として表れてきている。

このような中で、学校として生徒に更に「確かな学力」を身に付けさせていくに必要な、「学習意欲や向上心」、「将来展望」をもてる生徒の育成のためには、子どもに対する保護者の主体的な働きかけがないと難しい状況となっている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

学びの場としての「学校」「義務教育」を考えたとき、そこには単に「学力」「平均正答率」という物差しだけに固執するのではなく、生徒が将来にわたり、健全な社会の構成員として生計を営み、幸福追求ができるための「生きるための学力」「生きる力」を身に付けさせていきたいと強く考えながら教育活動を展開してきた。

本校の教育実践が、社会という大きな器の中で自己実現するために必要な「社会のルールを守る心」「自他を大切にする心」「真理を見極める力」につなげられることを、本校教職員は願ってやまない。

このような教育の指導方針と実践により、生徒会のリーダーシップで生徒専門員会や各学級・学年での諸活動が活発に行われ、「仲間を大切にする」「いじめを許さない」精神は、本校の伝統として確実に培われてきている。

今後の課題としては、前述の生徒の主体的活動や伝統を継承しつつ、「生きる力」の育成のために、生徒の「聞く」「考える(考察)」「まとめる(整理)」「表現(話す、創造)」の能力、「健康」「体力・運動能力」を、生徒や生徒集団の現状に合わせ、更に増進・向上させられるような授業内容や取り組みの工夫・改善を積極的に進めていく。

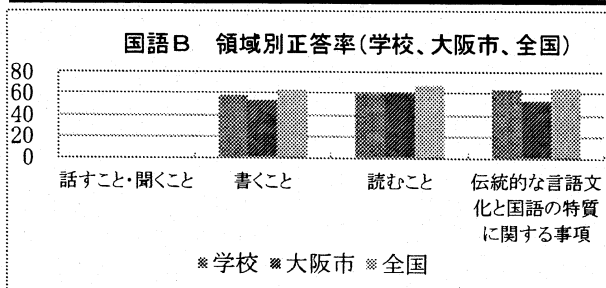
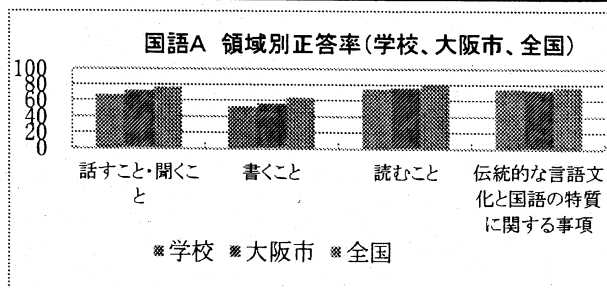
【国語】

結果の概要

A問題の「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の領域における、全国値との差は各々、-9.3と-11.7ポイントの差が確認できた。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、A・B問題とも平均値並みで、大阪市の値を上回っている。また、生徒質問紙中の国語の学習に向かう姿勢と理解度では、プラス評価の値が確認できる。

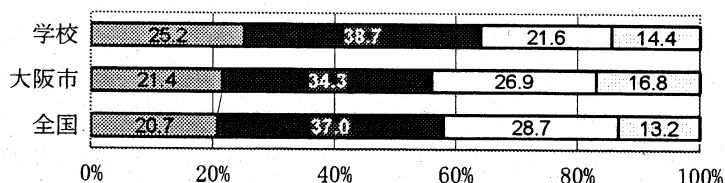
A 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	68.3	73.1	77.6
	書くこと	4	52.8	57.3	64.5
	読むこと	6	75.2	76.8	80.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	75.3	73.9	77.5

B 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0	—	—	—
	書くこと	3	58.3	54.0	62.7
	読むこと	8	59.2	61.9	67.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	64.0	54.2	64.6

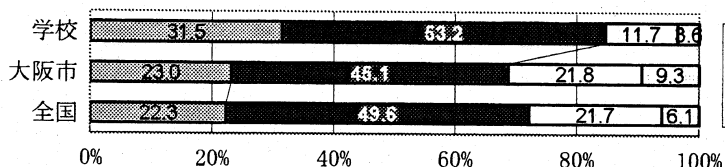


国語に関する「生徒質問紙」

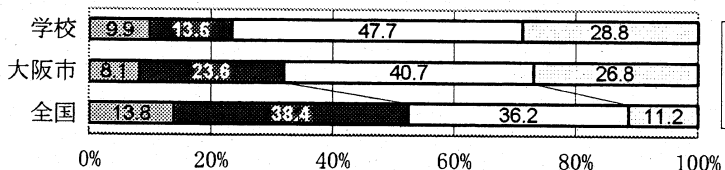
I 53 II 52 III 63
国語の勉強は好きですか



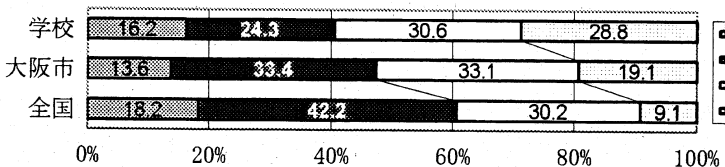
I 55 II 54 III 65
国語の授業の内容はよく分かりますか



I 58 II 57 III 68
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



I 60 II 59 III 70
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



成果と課題

○漢字の読み書きの力をつけるために、各学年で反復練習により、基本的な漢字力習得を進めてきたため、徐々にではあるが、能力向上につながられている。
○文章を書いて表現する力をつけるために、意見文や体験文、読書感想文や種々の作文指導を行ってきたことにより、苦手意識の払拭につながられている。

今後の取組

○語彙力の向上のために、さまざまな文章を読む機会や読書活動を拡充していく。
○家庭学習の習慣・定着化をさらに図っていくため、課題の提供や点検・指導助言を一層進めていく。
○家庭での学習環境の改善・工夫を保護者にも呼びかけつつ、学年、個人や能力に応じた「勉強の仕方」についても、再度、指導助言を行い効果をあげる。

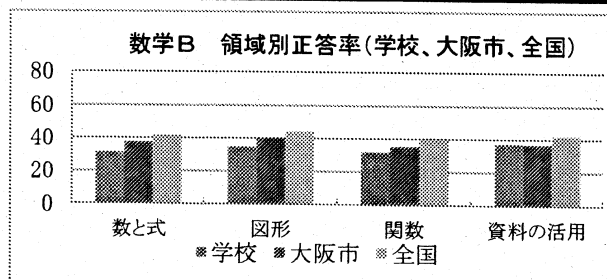
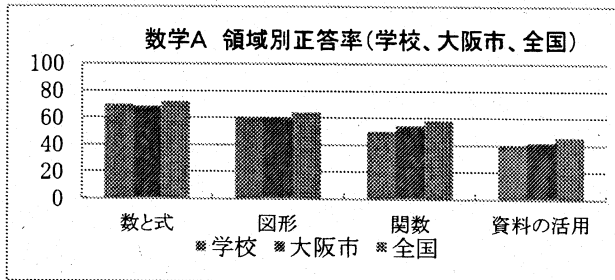
【数学】

結果の概要

A問題では、「数と式」では大阪市の値を上回り、他の領域でも大差がついたとまでは言い難い。しかしながら、読解・思考・応用力を必要とするB問題では、「資料活用」は大阪市の値を上回ることができたが、その他の3領域における全国との差については、8.0～10.3の広がりを確認することができた。数学の公式・きまりの根拠や生活の中での数学活用の意欲は、大阪を上回っている。

A 問題			平均正答率(%)			
			学校	大阪市	全国	
学習指導要領 の 領域等	数と式	11	70.2	68.6	72.7	
	図形	12	60.4	60.8	64.6	
	関数	9	50.8	54.7	58.7	
	資料の活用	4	40.8	42.3	46.8	

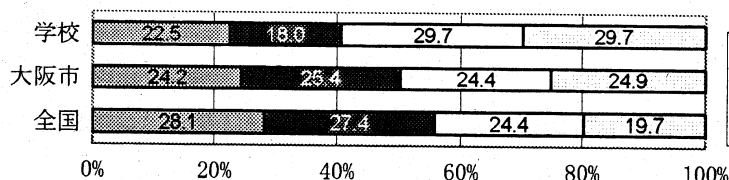
B 問題			平均正答率(%)			
			学校	大阪市	全国	
学習指導要領 の 領域等	数と式	5	31.4	37.6	41.7	
	図形	2	34.7	41.0	44.8	
	関数	6	32.0	35.4	40.0	
	資料の活用	3	37.5	37.1	42.2	



数学に関する「生徒質問紙」

I 73 II 62 III 73

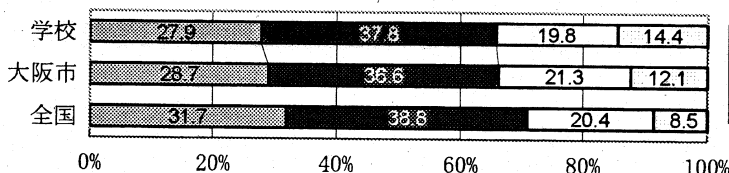
数学の勉強は好きですか



■当てはまる
■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない
■当てはまらない

I 75 II 64 III 75

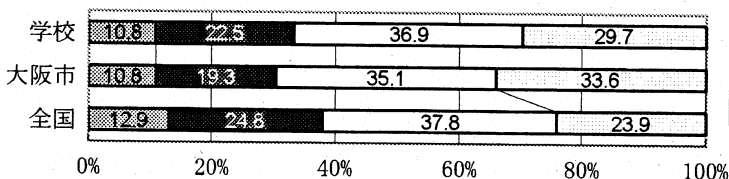
数学の授業の内容はよく分かりますか



■当てはまる
■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない
■当てはまらない

I 78 II 67 III 78

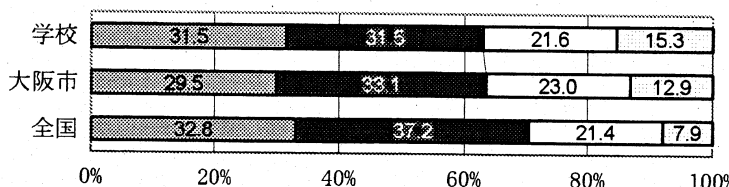
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



■当てはまる
■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない
■当てはまらない

I 81 II 70 III 81

数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか



■当てはまる
■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない
■当てはまらない

成果と課題

○全学年の全授業を分割で行い、個に応じた指導を進めることができ、わかる授業の推進の点において効果があげることができた。
○各学年で単元別テストや小テストを実施しながら、その結果をもとに放課後の補充学習に継続的に取り組んだため、基礎学力(計算能力)の定着につなげることができた。

今後の取組

○引き続き各学年で単元別テストや小テストを実施しながら理解状況を掌握し、補習等により基礎・基本の定着を図る。また個々の能力に応じた学習課題の工夫と準備をすすめる。
○習熟度別授業を展開し、基礎・基本事項の充実を踏まえながら、さらに発展的な内容についても指導していく。

基本的生活習慣・自尊感情・規範意識

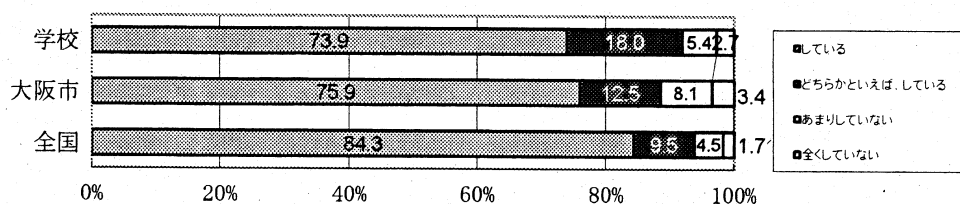
結果の概要

経年の調査結果から、家庭生活に起因する課題として捉えているもの、例えば「毎朝朝食をとらせているか」等は、PTA・保護者会などで繰り返し改善を依頼してきているが、全国値との差は依然10ポイントの開きがある。生活習慣の改善は学校でも啓発し続けているが、家庭の教育力の向上を地域や行政機関と協働して取り組んでいかないと、子どもの基本的生活習慣の確立は困難といえる。

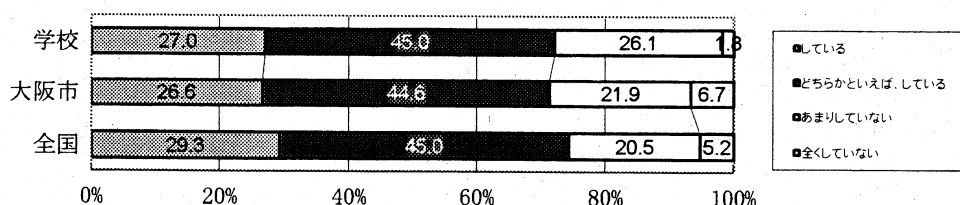
自尊感情や規則を守るに関する質問で、「当てはまる」の回答率は平均的結果であるが、「どちらかといえば当てはまる」の回答を含めば、全国平均との差が更に顕著になる。

質問番号	質問事項
------	------

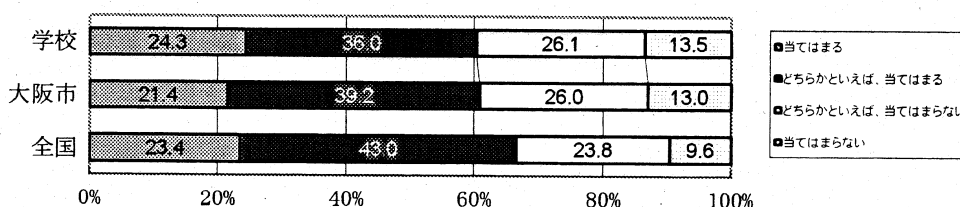
I 1	II 1	III 1
朝食を毎日食べていますか		



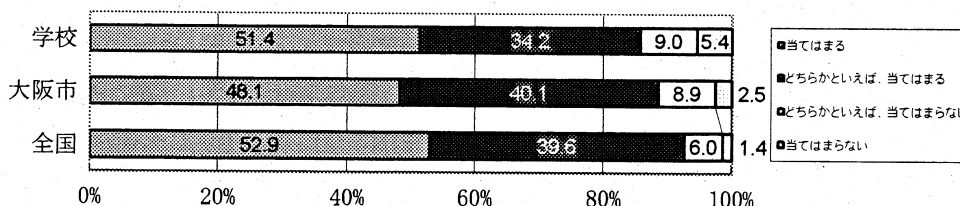
I 2	II 2	III 2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか		



I 6	II 6	III 6
自分には、よいところがあると思いますか		



I 44	II 41	III 45
学校の規則を守っていますか		



成果と課題

○生徒会がリーダーシップを発揮し、行事や取り組みを積極的に進めていることは、大きな成果としてあげられる。
○学校生活における生徒の規範意識の向上のために、きめ細やかな生活指導に取り組んできているが、これまで横ばいであった大幅遅刻や校内外での生活指導事案の数が、今年度に入って増加傾向にある。

今後の取組

○教師の指導がきちんと受け止められるような生徒、生徒集団の育成を、危機感をもって進めていく必要がある。そのための対応策を具体的に検討し、教職員の意志一致を図っていく。
○基本的生活習慣の確立、自尊感情・規範意識の高揚のための手立てを家庭・PTA・地域と共に具体化していく。

家庭学習・読書・学びの質の改善：言語力の育成

結果の概要

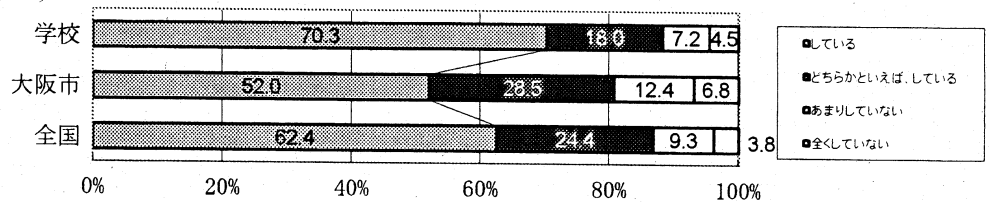
家庭学習のための課題(宿題)を課し、提出・完成状況を指導者が丁寧に点検を行っているきているため、高い数値結果となっている。しかしながら、宿題以外の授業の予習・復習や読書に取り組む習慣ができていない生徒が多いといえる。

「自学自習の習慣」「読書習慣」をつけるための啓発や取り組みを、家庭の協力を得ながら進めていくことが大切である。

質問番号 質問事項

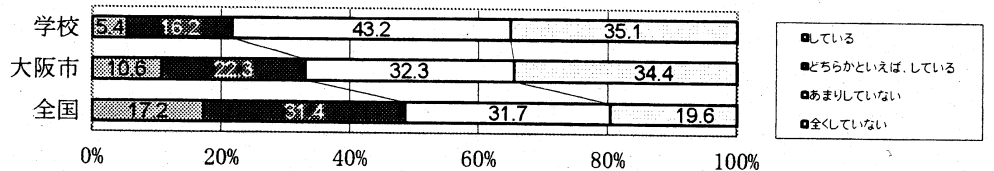
I 30 II 25 III 35

家で、学校の宿題をしていますか



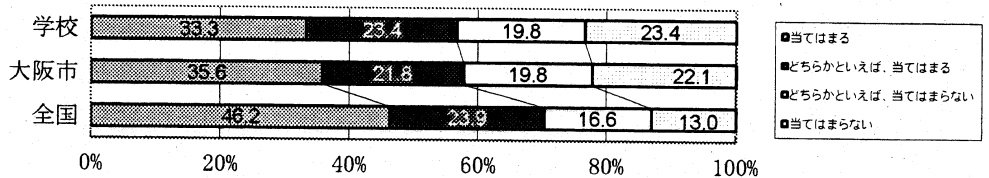
I 32 II 27 III 37

家で、学校の授業の復習をしていますか



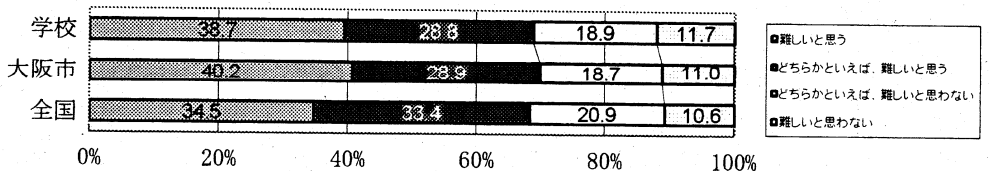
I 56 II 55 III 66

読書は好きですか



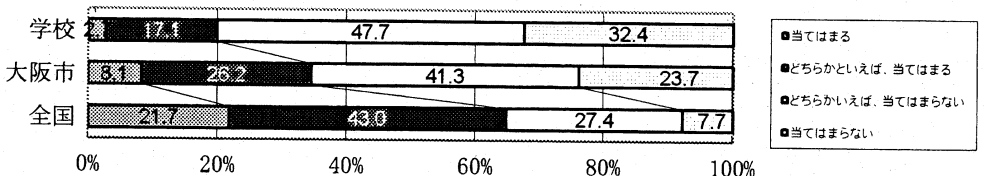
I 52 II 51 III 61

学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか



I 50 II 48 III 57

普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか



成果と課題

○与えられた課題(宿題)は、ほぼやり遂げられるようにはなっているが、予習・復習をはじめとする家庭学習の習慣ができていない。「自学自習」の進め方をもう一度一から説いていく必要がある。

○語彙力、文章読解力が低いという現状があるので、読書活動をはじめ言葉や文字に親しめるような取り組みも探究していく必要がある。

今後の取組

○生徒の「聞く」「考える(考察)」「まとめる(整理)」「表現(話す、創造)」の能力、「健康」「体力・運動能力」を、生徒や生徒集団の現状に合わせ、更に増進・向上させられるような授業内容や取り組みの工夫・改善を積極的に進めていく。

○家庭学習の習慣づけについては、家庭の協力が不可欠であるため、保護者への啓発を行っていく。

(様式5)

全国体力・運動能力、運動習慣等調査等の結果から明らかになった現状

1 平成24年度と25年度の調査結果の概要

平成 24 年度	調査 人数	種目別平均								
	全国 平均	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	持久走	20m シャ トルラン	50m 走	立ち 幅とび	ボール 投げ
		(kg)	(回)	(cm)	(回)	(秒)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
男子	43 名	26.67	<u>27.98</u>	38.71	48.51	<u>384.75</u>		8.05	193.48	<u>22.69</u>
	全国	29.57	27.43	43.18	51.48	392.58		8.02	195.33	21.15
女子	52 名	22.54	22.57	39.46	42.22	314.09		<u>8.72</u>	163.55	<u>13.75</u>
	全国	23.95	22.77	45.08	45.49	292.88		8.87	167.08	13.04

※持久走は、男子 1500m、女子 1000mの距離

※20mシャトルランは、持久走との選択制のため空欄

※下線部は、全国を上回る値

平成25年度の調査結果の概要

平成 25 年度	調査 人数	種目別平均								
	全国 平均	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	持久走	20mシャ トルラン	50m 走	立ち 幅とび	ボール 投げ
		(kg)	(回)	(cm)	(回)	(秒)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
男子	51 名	<u>29.96</u>	<u>30.76</u>	38.04	51.04	396.08		<u>7.86</u>	<u>199.06</u>	<u>23.29</u>
	全国	29.21	27.58	43.11	51.08	393.90		8.04	193.68	21.01
女子	52 名	<u>23.81</u>	<u>23.25</u>	40.15	44.46	329.86		9.24	161.61	<u>14.04</u>
	全国	23.76	23.03	45.12	45.27	292.71		8.88	166.18	12.97

※下線部は、全国を上回る値

※太字の数値は、自校の前年度より上回る値

<25年度の結果から>

- ・男子は、自校の前年度との比較において、8種目中（長座体前屈、持久走を除く）6種目で伸びがあった。
- ・女子は、8種目中（持久走、50m走、立ち幅とびを除く）5種目で伸びがあった。
- ・全国平均と比較して、男子は8種目中5種目で、女子は3種目で全国を上回った。
- ・数値結果からの課題として、身体の柔軟性と全身持久力・瞬発力の向上が挙げられる。

2 自校の取組の成果と課題

成果と課題
○体育的活動においては、体育大会や球技大会などの行事を通じて、体力向上を図ったり、運動部への積極的加入と活動のさらなる活性化を促しながら、運動への興味関心、向上心を高めた。 ○保健体育科の授業において、授業の準備運動となるランニングとストレッチを毎時行うことで、持久力や柔軟性を少しではあるが高めることができた。今後は、筋力アップのためのトレーニング法なども取り入れ、工夫しながら、個々の体力・運動能力の伸張を進めた。 ○前年度の大阪市体力・運動能力調査の結果から、大阪市平均を下回っていた多くの種目を平均まで高めるための工夫や指導を進めた。その結果、体力・運動能力調査を、生徒が真面目に意識して受けたことで、走力・筋力・巧緻性・敏捷性・柔軟性・全身持久力などすべての領域で昨年より向上がみられた。特に走力・敏捷性・柔軟性においては全国の平均値を超えた。 ○学習指導要領にある‘心と体を一つにしてとらえ’をどう受け止めるかだが、体力の向上を図るには、特に大阪市の公立中学校においては、生活指導力も大きな要因であると考えることができる。

中学校男子 基本的生活習慣・運動のきっかけ

結果の概要

学校全体として、生徒の基本的生活習慣の是正に向けて、数年来、生徒への直接指導や保護者、PTA、地域への呼びかけ等を通じて呼びかけてきた。しかしながら、当該学年の生徒集団や保護者意識の状況により、結果や傾向については年ごとに違いがみられる。

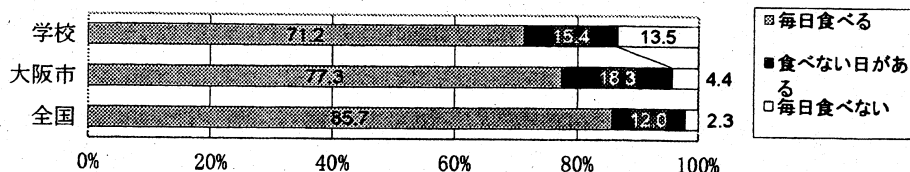
また、運動に対する意識の面で、「運動習慣」「得意」「好き」の数値も低い。運動習慣のある生徒のみが答える「土曜・日曜の運動回数」で、4回が圧倒的に多いのは、運動部の活動がこれに該当していることは明らかである。

質問
番号

質問事項

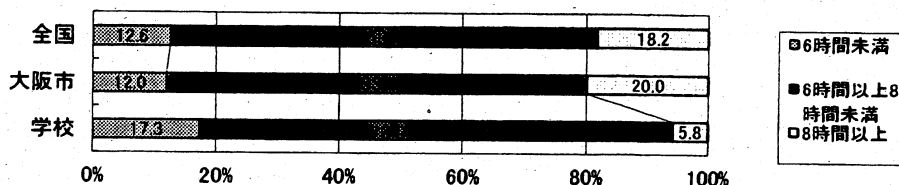
9

朝食は食べますか



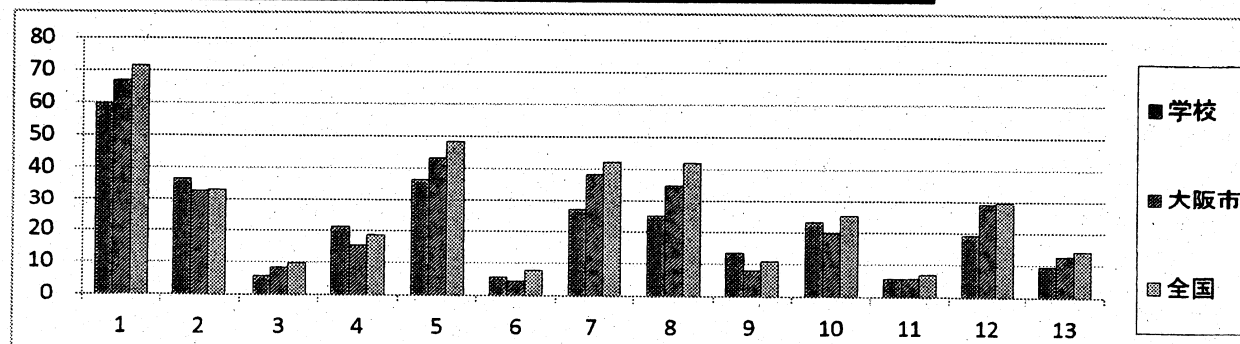
10

1日の睡眠時間



12

今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。



成果と課題

さまざまな家庭環境にありながらも、部活動で一生懸命になって頑張っている生徒も数多く、学校としてもできるだけ多くの生徒に対し、部活動加入の奨励や、保護者・地域、小中連携なかでも訴えながら取り組んできた。その結果、生き生きとした部活動、相応の成績を残しながら、運動に対する興味・関心・意欲にもつながっている。

課題として、基本的生活習慣が確立できていない生徒、とくに家庭内で急学・急情に陥る原因となる「睡眠時間」「テレビ」「ゲーム」「インターネット」等に関して克服すべき課題に対し、抜本的な改善策を進めなければならない。

今後の取組

家庭生活のあり方や習慣について、もはや学校の指導が及ばない部分も多く、生徒や保護者に学校生活や家庭生活に関わるさまざまな課題や詳細なデータを示し、原因の自己分析をさせるなかで、改善方法を共に考え、実行できる目標を立てさせながら相互点検ができるシステムを研究・提唱していく。

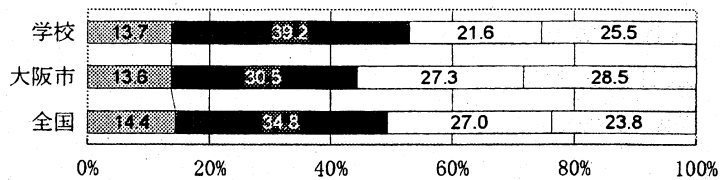
3番目の質問(No,12)の選択肢

今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。

- 1 自分が好きな種目、できそうな種目があったら
- 2 上手にできなくても自分のペースで運動やスポーツを行うことができたから
- 3 授業でていねいに教えてもらえたら
- 4 一人でもできるものがあったら
- 5 友達といっしょにできたら
- 6 家族といっしょにできたら
- 7 いつでも自由に使えたり遊べたりする場所があったら
- 8 学校の中で自由な時間があったら
- 9 自分の体力、運動能力や体のことで不安なことがあったら
- 10 友達にさそわれたら
- 11 先生や家族からすすめられたら
- 12 運動やスポーツで活やくしている選手、有名人に教えてもらえたら
- 13 体型の変化に効果があると分かったら

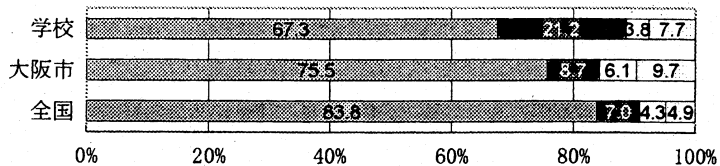
質問 番号	質問事項
----------	------

11
1日のテレビの視聴時間



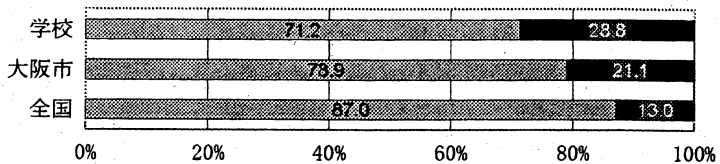
☐ 1時間未満
☐ 1~2時間未満
☐ 2~3時間未満
☐ 3時間以上

4
運動実施状況



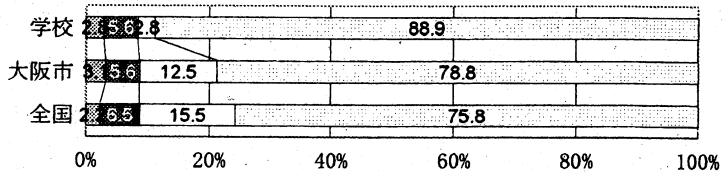
☐ ほとんど毎日
☐ 時々
☐ ときたま
☐ しない

5
土曜日の運動



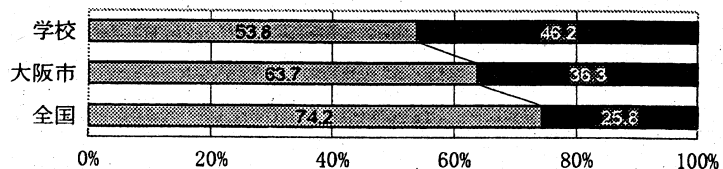
☐ している
☐ していない

5
土曜日の運動回数



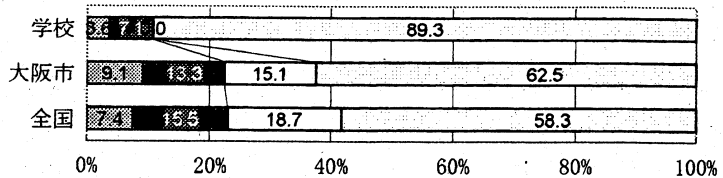
☐ 月に1回
☐ 月に2回
☐ 月に3回
☐ 月に4回

6
日曜日の運動



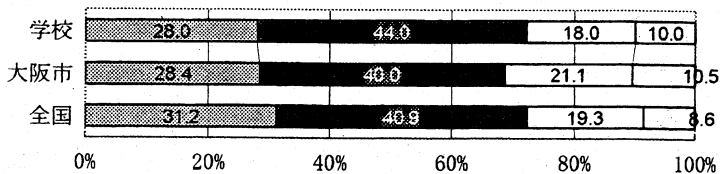
☐ している
☐ していない
☐ 〇
☐ ※

6
日曜日の運動回数



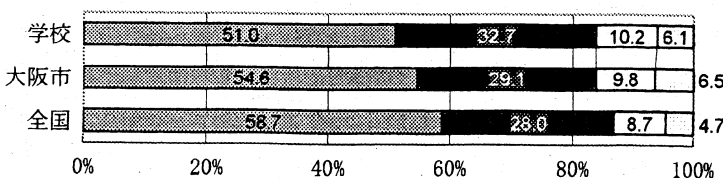
☐ 月に1回
☐ 月に2回
☐ 月に3回
☐ 月に4回

13
運動が得意



☐ 得意
☐ やや得意
☐ やや苦手
☐ 苦手

14
運動が好き



☐ 好き
☐ やや好き
☐ ややきらい
☐ きらい

中学校男子 運動・スポーツに対する意識

結果の概要

調査年度ごとに調査結果は異なり、あくまでも当該学年の調査結果として捉える必要がある。
運動やスポーツに対する意識は、全国の数値に比べて負の傾向となっている項目が多い。これは小学校低学年からの傾向であるとも捉えられる。

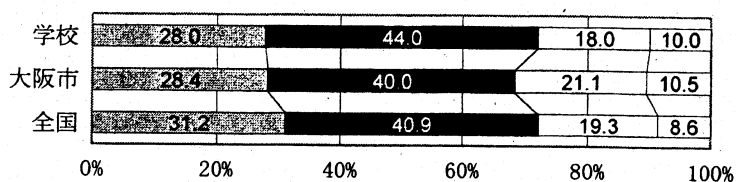
体育の授業に関しては、その目的意義や重要性について生徒もきちんと理解できている。授業の内容や指導の成果として、全国平均を上回る数値、大阪市の平均を寄せつけない数値が示されている。本校の保健体育の授業の質の高さやあり様が伺える結果となっている。

質問
番号

質問事項

13

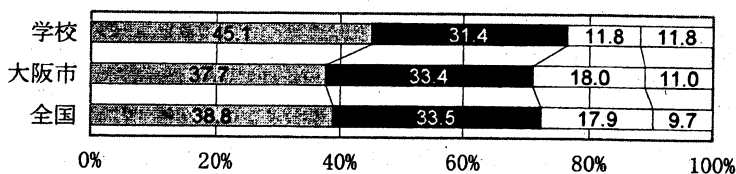
運動やスポーツをすることは得意ですか



□得意
■やや得意
□やや苦手
□苦手

26

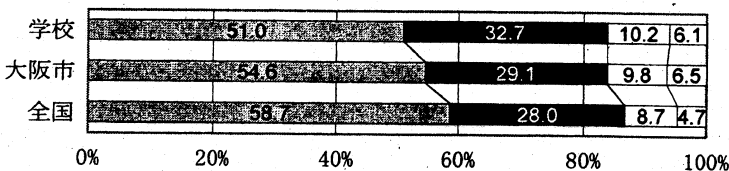
小学校5, 6年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが得意でしたか



□得意だった
■やや得意だった
□やや苦手だった
□苦手だった

14

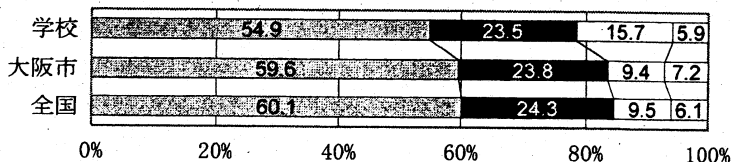
運動やスポーツをすることは好きですか



□好き
■やや好き
□やや苦手
□苦手

27

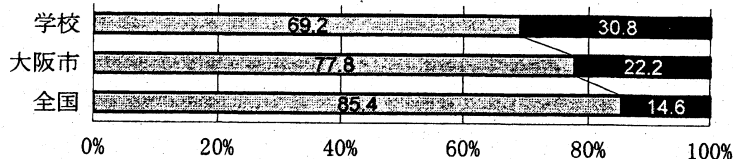
小学校5, 6年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが好きでしたか



□好きだった
■やや好きだった
□やや苦手だった
□苦手だった

3

運動部に所属しているか



□所属している
■所属していない

成果と課題

生徒の運動部への加入生徒の割合が大きな影響を与えるとも考えられるが、地域スポーツクラブへの所属生徒も多くいるのでデータ比較は困難である。学校の部活動に関して言えば、入学以前より部活動体験や、入学時も体験入部期間や部活動紹介などを経て、積極的に参加を呼びかけてきた。その結果、数多くの優秀な成績を残せるようになってきたのは事実である。部活動加入率の違いによる調査結果を検証し、向上策に取り組んでいけるよう努める。

今後の取組

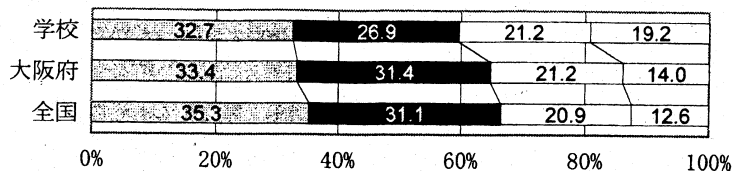
運動やスポーツへの興味・関心を育成するための学校・学年行事の実施や、とりわけ体育の授業の中で、実践に基づいた意識づけや実技指導をより一層効果的に進めていく。

運動に対して嫌い・不得手意識をもつ生徒への機会づくりとして、運動やスポーツに家族も含め、触られる機会(地域・区主催のイベント)なども紹介し、体力・健康増進の面でも重要性を意識づける。

質問 番号	質問事項
----------	------

39

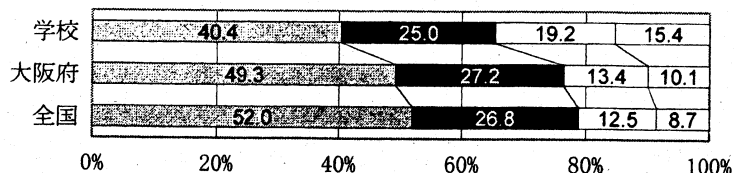
小学1・2年生時運動が得意であった



□得意だった
■やや得意だった
□やや苦手だった
□苦手だった

40

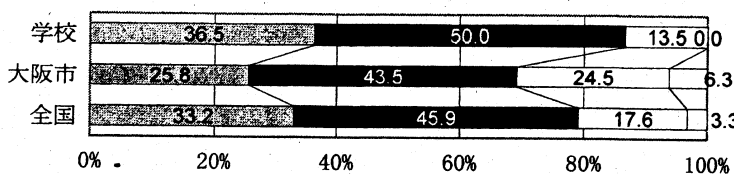
小学1・2年生時運動が好きであった



□好きだった
■やや好きだった
□やや苦手だった
□苦手だった

18

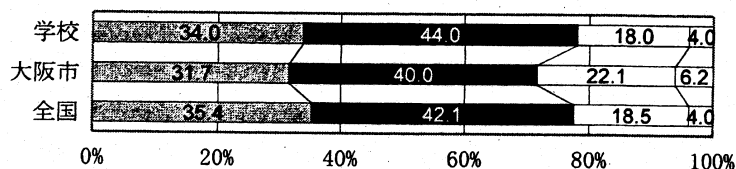
保健体育の授業で、押し合ったり、助け合ったりして学習が進められている



□そう思う
■ややそう思う
□あまりそう思わない

19

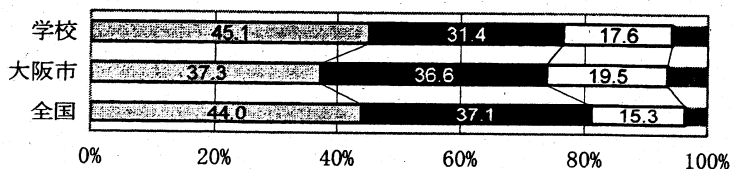
保健体育の授業で、運動のコツやポイントが分かる



□そう思う
■ややそう思う
□あまりそう思わない
□まったくそう思わない

20

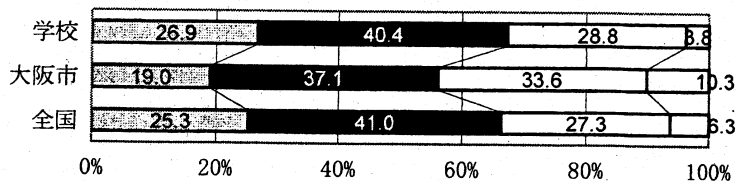
保健体育は自分にとって大切なものである



□そう思う
■ややそう思う
□あまりそう思わない
■まったくそう思わない

21

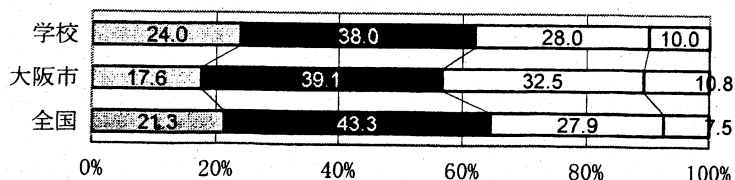
保健体育の授業を学校生活や日常生活の中で生かしている



□そう思う
■ややそう思う
□あまりそう思わない

23

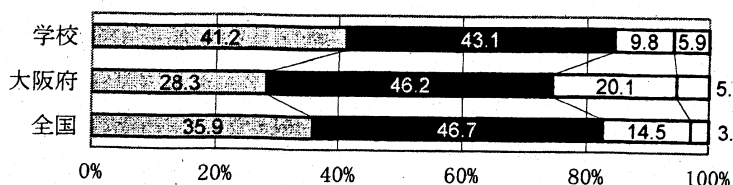
保健体育の授業で、友達に認めもらえる



□そう思う
■ややそう思う
□あまりそう思わない
□まったくそう思わない

24

保健体育の授業では自分や仲間の安全に気を配れている



□そう思う
■ややそう思う
□あまりそう思わない

中学校女子 基本的な生活習慣・運動のきっかけ

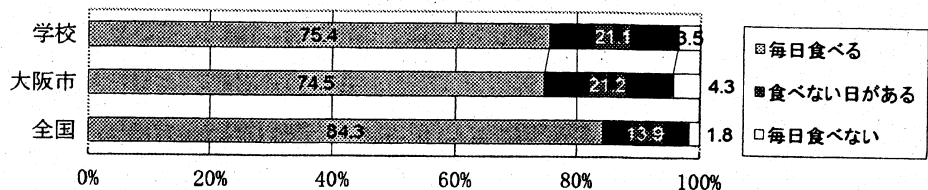
結果の概要

学校全体として、生徒の基本的な生活習慣の是正に向けて、数年来、生徒への直接指導や保護者、PTA、地域への呼びかけ等を通じて呼びかけてきた。しかしながら、当該学年の生徒集団や保護者意識の状況により、結果や傾向については年ごとに違いがみられる。

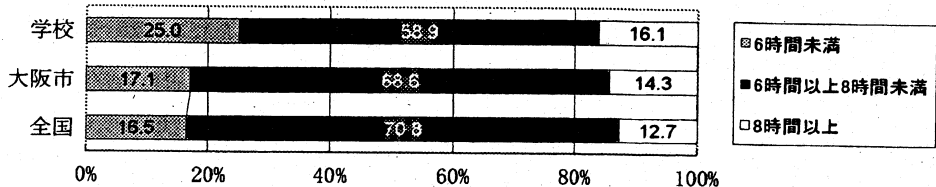
また、運動に対する意識の面で、「運動習慣」「得意」「好き」の数値も男子よりもさらに低く、運動部への加入率も低という現状がある。加入している女子生徒は、男子と同様に土曜・日曜を含めて運動習慣ができていると捉える。

質問 番号	質問事項
----------	------

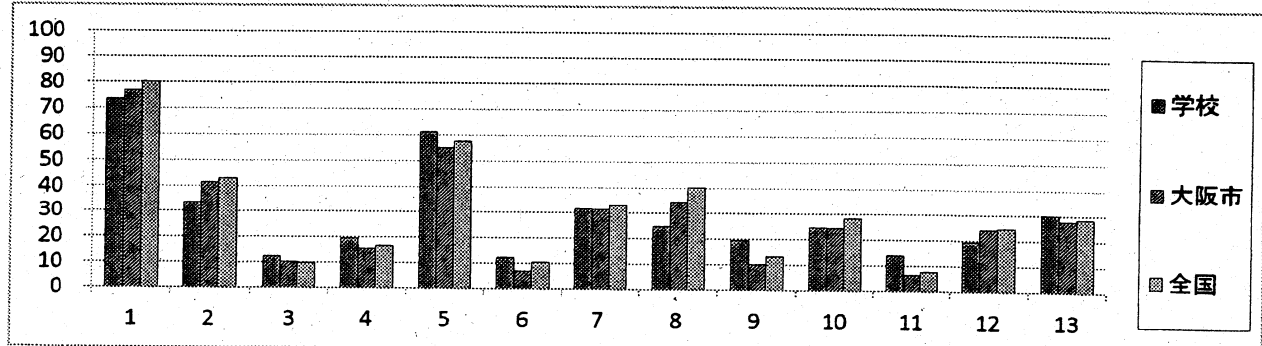
9
朝食は食べますか



10
1日の睡眠時間



12
今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。



成果と課題

男子生徒と同様、さまざまな家庭環境にありながらも、部活動で一生懸命になって頑張っている生徒も数多く、学校としてもできるだけ多くの生徒に対し、部活動加入の奨励や、保護者・地域、小中連携なかでも訴えながら取り組んできた。その結果、生き生きとした部活動、相応の成績を残しながら、運動に対する興味・関心・意欲にもつながっている。

課題として、基本的な生活習慣が確立できていない生徒、とくに家庭内で怠学・怠惰に陥る原因となる「睡眠時間」「テレビ」「携帯電話」等に関して克服すべき課題に対し、抜本的な改善策を進めなければならない。

今後の取組

家庭生活のあり方や習慣について、もはや学校の指導が及ばない部分も多く、生徒や保護者に学校生活や家庭生活に関わるさまざまな課題や詳細なデータを示し、原因の自己分析をさせるなかで、改善方法を共に考え、実行できる目標を立てさせながら相互点検ができるシステムを研究・提唱していく。

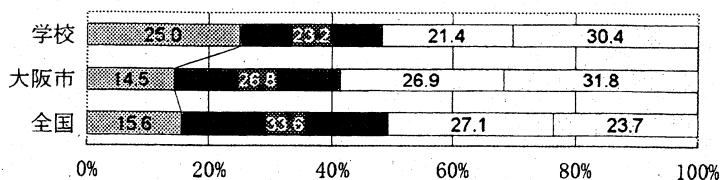
3番目の質問(No,12)の選択肢

今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。

- 1 自分が好きな種目、できそうな種目があったら
- 2 上手にできなくても自分のペースで運動やスポーツを行うことができたから
- 3 授業でいねいに教えてもらえたら
- 4 一人でもできるものがあったら
- 5 友達といっしょにできたら
- 6 家族といっしょにできたら
- 7 いつでも自由に使えたり遊べたりする場所があったら
- 8 学校の中で自由な時間があったら
- 9 自分の体力、運動能力や体のことで不安なことがあったら
- 10 友達にさそわれたら
- 11 先生や家族からすすめられたら
- 12 運動やスポーツで活やくしている選手、有名人に教えてもらえたら
- 13 体型の変化に効果があると分かったら

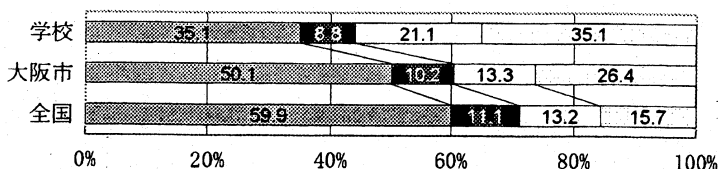
質問 番号	質問事項
----------	------

11
1日のテレビの視聴時間



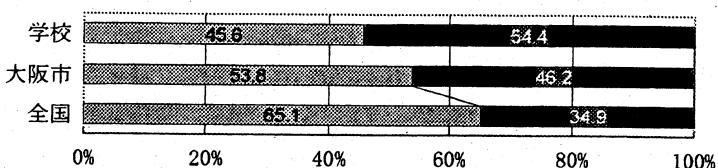
☐ 1時間未満
☐ 1～2時間未満
☐ 2～3時間未満
☐ 3時間以上

4
運動実施状況



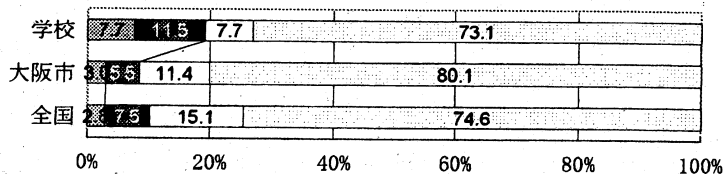
☐ ほとんど毎日
☐ 時々
☐ ときたま
☐ しない

5
土曜日の運動



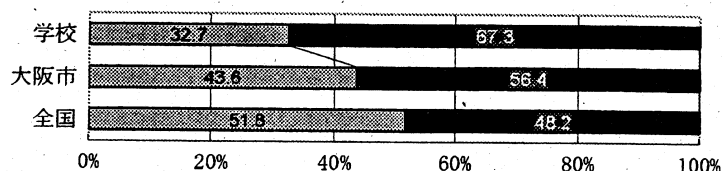
☐ している
☐ していない

5
土曜日の運動回数



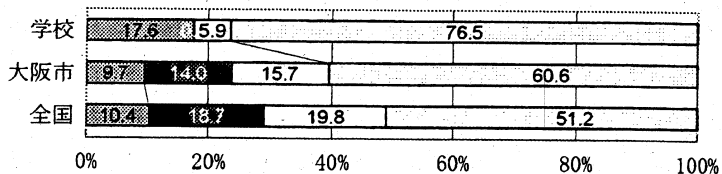
☐ 月に1回
☐ 月に2回
☐ 月に3回
☐ 月に4回

6
日曜日の運動



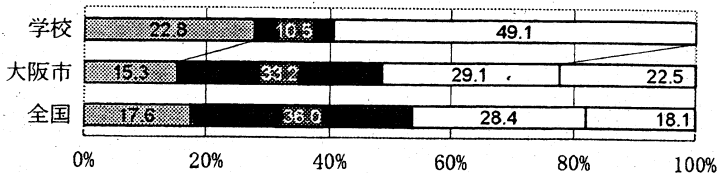
☐ している
☐ していない

6
日曜日の運動回数



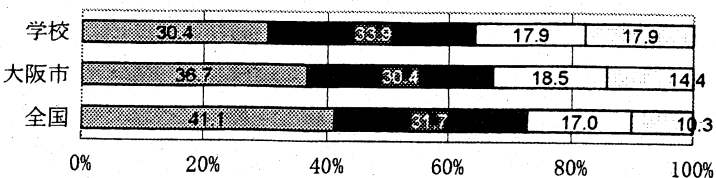
☐ 月に1回
☐ 月に2回
☐ 月に3回
☐ 月に4回

13
運動が得意



☐ 得意
☐ やや得意
☐ やや苦手
☐ 苦手

14
運動が好き



☐ 好き
☐ やや好き
☐ ややきらい
☐ きらい

中学校女子 運動・スポーツに対する意識

結果の概要

調査年度ごとに調査結果は異なり、あくまでも当該学年の調査結果として捉える必要がある。

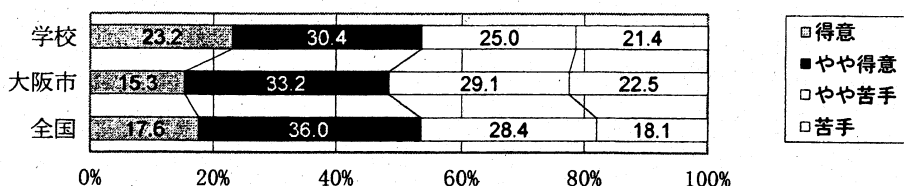
運動やスポーツに対する意識は、全国の数値に比べて負の傾向となっている項目が多い。これは小学校低学年からの傾向であるとも捉えられる。

体育の授業に関しては、その目的意義や重要性について生徒もきちんと理解できている。授業の内容や指導の成果として、全国平均を上回る数値、大阪市の平均を寄せつけない数値が示されている。本校の保健体育の授業の質の高さやあり様が伺える結果となっている。

質問 番号	質問事項
----------	------

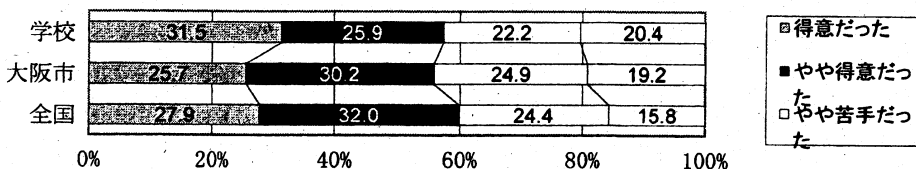
13

運動やスポーツをすることは得意ですか



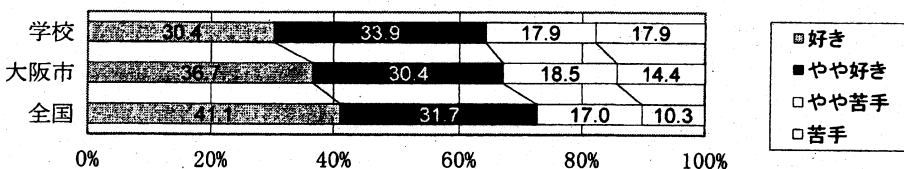
26

小学校5, 6年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが得意でしたか



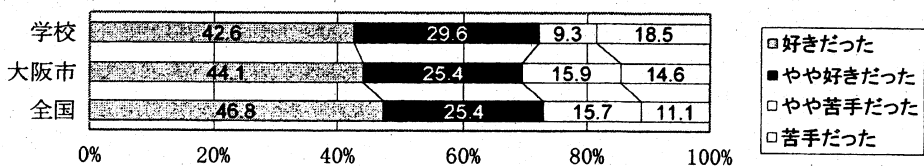
14

運動やスポーツをすることは好きですか



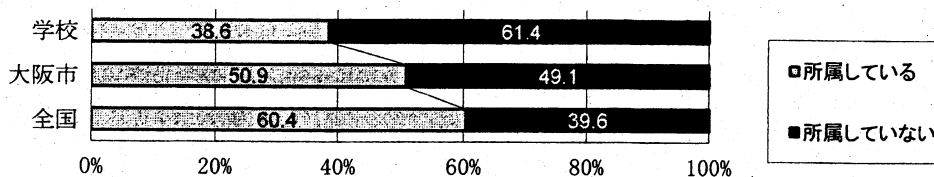
27

小学校5, 6年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが好きでしたか



3

運動部に所属しているか



成果と課題

本校女子生徒の運動部への加入率は38.6%である。全国的女子平均が60.4%であるので、-21.8ポイントの大差が生じている(男子は-16.2p)。しかしながら、文化部活動も活発であり、何事にも熱心に取り組めているので、運動やスポーツに対する意識や能力的なデータ比較は困難である。部活動加入率の違いによる調査結果を検証し、向上策に取り組んでいけるよう努める。

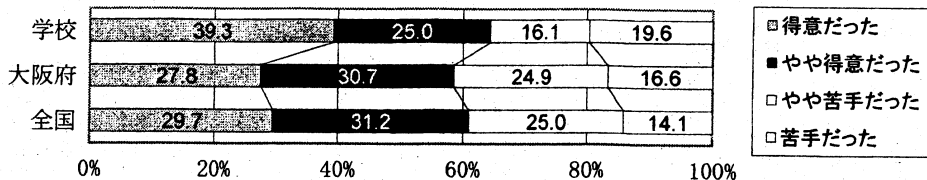
今後の取組

運動やスポーツへの興味・関心を育成するための学校・学年行事の実施や、とりわけ体育の授業の中で、実践に基づいた意識づけや実技指導をより一層効果的に進めていく。

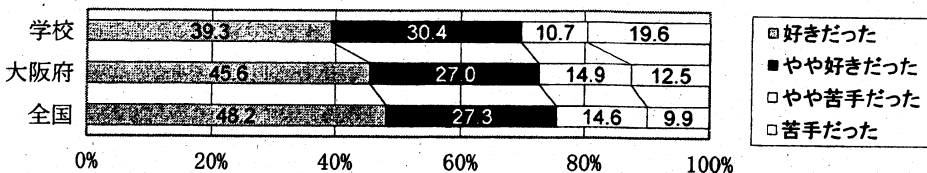
運動に対して嫌い・不得手意識をもつ生徒への機会づくりとして、運動やスポーツに家族も含め、触られる機会(地域・区主催のイベント)なども紹介し、体力・健康増進の面でも重要性を意識づける。

質問 番号	質問事項
----------	------

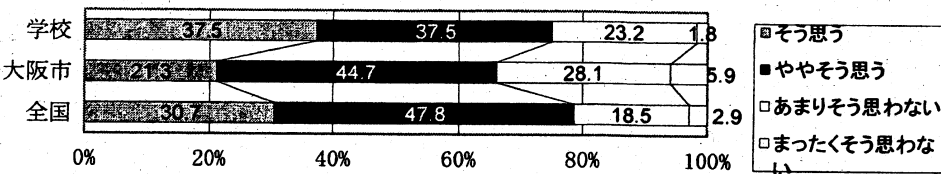
39
小学1・2年生時運動が得意であった



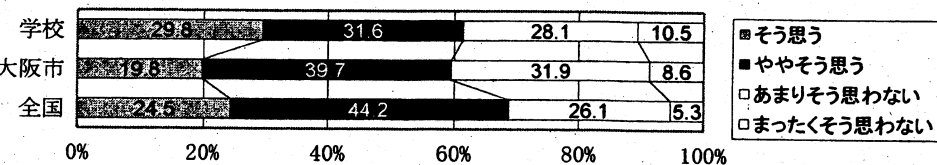
40
小学1・2年生時運動が好きであった



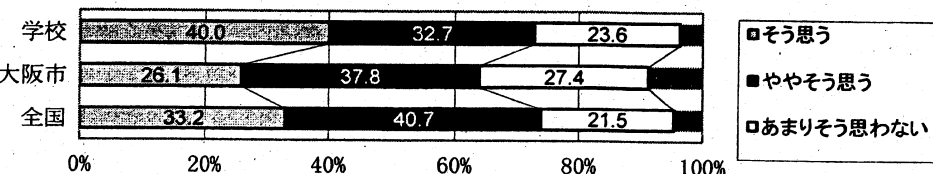
18
保健体育の授業で、押し合ったり、助け合ったりして学習が進められている



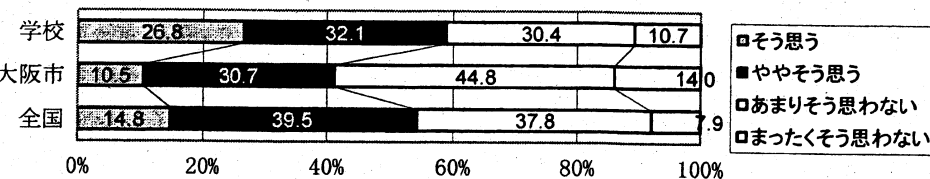
19
保健体育の授業で、運動のコツやポイントが分かる



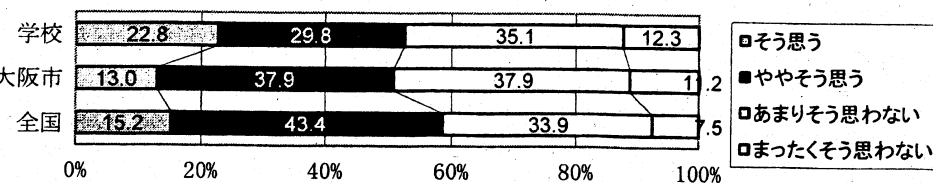
20
保健体育は自分にとって大切なものである



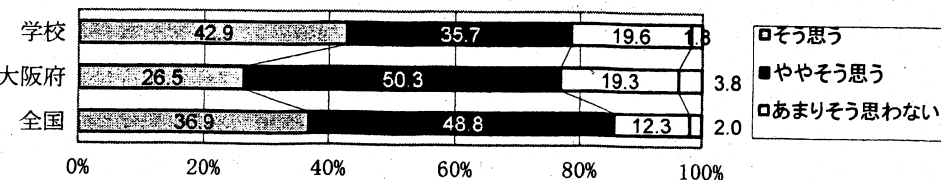
21
保健体育の授業を学校生活や日常の生活の中で生かしている



23
保健体育の授業で、友達に認められる



24
保健体育の授業では自分や仲間の安全に気を配れている



傍聴人、およびHP用資料

(様式6)

生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査から明らかになった現状

1 平成25年度の調査結果の概要

区分	結果
①暴力行為の発生件数(件)	※ 件
②いじめの認知件数(件)	※ 件
*いじめの現在の状況で「解消しているもの」の件数の割合(%)	※ %
③不登校生徒数(人)	※ 人

※統計法第40条により、非公開

2 自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
①暴力行為の状況等	統計法第40条により、記載内容を割愛
②いじめの状況等	統計法第40条により、記載内容を割愛
③中学校における 不登校の状況	統計法第40条により、記載内容を割愛

学力向上の取組について

今年度の全国学力・学習状況調査の結果やこれまでのアクションプランなどに基づく成果と課題

調査項目		成果と課題
国 語	A問題【主として「知識」に関する問題】	A問題の「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の領域における、全国値との差は各々、-9.3と-11.7ポイントという開きがあった。国語に限らず、各教科における指導の重点として、「聞く」「考える（考察）」「まとめる（整理）」「表現（話す、書く、創造）」する力の伸長を目指し、読書活動など工夫しながら取り組んできた。生徒質問紙中の国語の学習に向かう姿勢と理解度では、すでにプラス評価の値が確認できており、また「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、大阪市の値を上回っている。これはこれまでの読書活動の成果でもある。今後、様々な文例や問題に触れさせ、文章読解力を伸ばし、正答を導き出せる力を身につけさせる。
	B問題【主として「活用」に関する問題】	読書活動の取り組みとは裏腹に「読むこと」の領域での値が芳しくなかった。国語辞典や漢和辞典を活用する習慣があまりない（低保有率）状況もあり、意味を理解しながら読む、鑑賞するという力を育てていく授業や取り組みをさらに進める。
数 学	A問題【主として「知識」に関する問題】	「関数」と「資料の活用」が、大阪市平均から約-1.5～-3.9ポイントの開きがあった。これに対して、「数と式」は、+1.4ポイントと大阪市の値を上回る数値であったのは、習熟度別学習の成果である。また、数学の公式・きまりの根拠や生活の中での数学活用の意欲は、大阪市を上回っている。 調査結果から、計算問題の誤答も多少あったので、今後、練習問題の繰り返しにより、基礎・基本の解法を身に付けさせる。
	B問題【主として「活用」に関する問題】	「数と式」と「図形」では、全国平均から約-10ポイントの大きな開きがあった。「関数」「資料の活用」などの問題への苦手意識からか無答率も少々高かった。様々な問題にじっくりと取り組める力、さらに読解力、応用力が身に付けられるように授業や指導法の工夫をしていく。
生徒 質問紙	学習意欲・学習方法・ 学習環境・生活の諸側 面等に関して	朝食の摂取は、年々良くなりつつあるが、毎朝摂るという回答が全国値とはまだ-10ポイントほど開きがある。同じくらの就寝時刻についても、年々全国値に近づいているが、-2ポイントの差がある。基本的な生活習慣の確立に向けての指導、啓発を進める。 達成感については、日頃からのやりきらせる指導により、全国値を+10ポイントとなっている。いじめについては、どんな理由があってもいけないと思うとの回答が、全国値を+11.5ポイント。国語は好きとの回答が、+5ポイント。国語の授業は大切だと思っているも、+7ポイント。数学の勉強は大切だと思っているも全国

		値を上回っている。 宿題以外の家庭学習（予習・復習）の時間が少なく、習慣性の部分でも身に付いていない状況もあるので、保護者への協力の呼びかけを積極的に行う。
学校 質問紙	指導方法に関する取組・人的、物的な教育条件の整備の状況等	教員の協力体制はしっかりできているので、生徒の実態に即した様々な取り組みを工夫しながら、効果的に進めていきたい。 研修への参加や公開授業にも学校をあげて取り組むことができているので、さらに効果的な指導力向上を探究していく。 小中連携については、本校校区では様々な取り組みでの連携、職員研修なども盛んに行われているので、より一層の連携により、児童・生徒の育成に努めたい。
その他	生徒の主体的な行事への参画と「生きる力」の育成	体育大会、文化祭、合唱コンクール、読書感想文コンクール、百人一首大会、弁論大会などの取り組みを通じて、生徒の「聞く」「考える（考察）」「まとめる（整理）」「表現（話す、書く、創造）」する力をさらに培う。

学力向上アクションプランの今後のビジョンと具体的方策

今年度の全国学力・学習状況調査の結果等に基づいての今後の具体的取組

項 目		具体的な取組内容（工夫や留意点など）
ICTを活用した 教育の推進		2学期に、iPad mini10 台を大阪市教育センターから借用して、英語や音楽、そして総合的な学習の時間での授業で使用を試行してきた。全教職員が日常的にICT教育機器を活用した授業が展開できるように、研修・研究を進め、またあわせて、既存の電子黒板やノートパソコンなどの使用頻度を上げていけるように取り組む。
小中一貫した教育の推進		中学校区内3小学校での連携行事として、児童会生徒会交流会、拡大クリーンキャンペーン、部活動体験、体育大会見学、体験入学会、文化的行事の交流、教職員の合同研修会など多くの行事において連携を積み重ねてきた。校区の小学校との協力体制ができているので、今後、効果的な連携のあり方と中身の充実を図っていく。
習熟度別少人数授業の実施	国語	話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の4領域とも、習熟度別による分割授業により基礎的な国語力の向上・定着につなげたい。そのために必要な辞典や参考書等、問題集等の充実と活用を図っていく。
	数学	数と式、図形、関数、資料の整理の4領域とも、習熟度別分割授業で、基礎的な数学力の向上・定着につなげていく。そのために学習に必要な参考書やドリルなどの教材、また数学のパソコン用のドリルソフトを充実・活用していく。
	英語	習熟度別分割授業で、英語力（読む・書く・聞く・話す等）の向上につなげていく。そのための学習に必要な辞典や参考書などの教材、また英語検定においてより上級を目指せるように、問題集等の充実と活用を図る。
英語教育の強化		C-NET を効果的に活用し、3 学年とも生きた英語を学ぶ機会を増やす。また、英語検定受験を前提とした、問題集等の充実と活用を図る。
言語力や 論理的思考能力の育成		「生徒の作品があふれる学校」を目指し、美術科、技術・家庭科、特別支援学級等で制作された作品の展示により、生徒のやる気を引き出し、発表の仕方を工夫することで、言語力や論理的思考力の育成を図る。
理科教育の充実		理科室が2つある利点を生かし、全生徒が毎時間理科室で授業を受けている。実験等が身近に行える環境にあり、毎時間生徒に対し具体物を提示するなど、自然科学に対する興味・関心を喚起する授業を展開する。実験・観察を通して、記述、発表、討論などの言語活動を行うとともに、確認テストなどを定期的に行い、基礎学力の定着を図る。実験などがない日も演示実験や、具体物の提示などの工夫により、興味・関心・意欲を引き出す。理科や実験に対する興味・関心度は高い傾向にあるので、さらに考察力を高め、理論的に物事を検証できる力を高めていく。

放課後等を活用した 自主学習の支援	現在、学校元気アップ事業で定期テスト前の放課後と長期休業中の午後に、自主学習会として「かすがてらこや」を実施中である。 テスト前に、各教科や各担任、またクラブ顧問が放課後に教室で自主学習をさせることが概ね定着しているが、学生ボランティアや学習場所・時間、期間の充実を進め、この事業の活動とのリンクや広がりを目指して支援していく。
学校の活性化	職場構成の教員年齢層に偏りがみられるようになってきている。この状況は全市的にも変わらないが、本校においては、次年度以降さらに顕著化する。いわゆるベテランと若手教員の世代のギャップを払拭するための解決策として、学習指導要領とリンクした教育方針や指導方法、また、授業や生活指導のあり方、部活動等の特別活動への共通理解によって学校の活性化を図っていく必要がある。 「ひとりひとりの生徒に希望と喜びを抱かせる教育」を教育方針に据え、本校の教育実践が、社会という大きな器の中で、生徒が自己実現するために必要な「社会のルールを守る心」「自他を大切にする心」「真理を見極める力」につなげられることを、本校教職員は願ってやまない。 このような教育の指導方針と実践により、生徒会のリーダーシップにより、生徒 専門委員会や各学級・学年での諸活動が活発に行われている。「仲間を大切にする」「いじめを許さない」精神は、本校の伝統として確実に培われているので、今後もこれらの継承と発展を目指したい。
学校・家庭・地域の連携	家庭学習のための課題（宿題）を課し、提出・完成状況を指導者が丁寧な点検を行ってきているため、調査結果の数値は高いものとなっている。しかしながら、宿題以外の授業の予習・復習や読書に取り組む習慣ができていない生徒が多いことも課題である。「自学自習の習慣」「読書習慣」をつけるための啓発や取り組みを、家庭の協力を得ながら進めていくことが大切である。 キャリア教育としての職業講話や職場体験で、地域の教育力を活用しながら、学校・家庭・地域の三者が、密に連携できるように努力する。
上記以外の 学校独自の取組	特記事項なし